

IBM WebSphere Commerce



商品管理: オンライン・ヘルプ・ファイル

Version 5.4

IBM WebSphere Commerce



商品管理: オンライン・ヘルプ・ファイル

Version 5.4

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、99 ページの『特記事項』に記載されている一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM WebSphere Commerce
Product Management: Online Help Files
Version 5.4

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第3刷 2002.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次

第 1 章 商品管理役割	1
WebSphere Commerce アクセラレーター	7
WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザー・インターフェース	11
WebSphere Commerce アクセラレーターのオープン	13
第 2 章 Buyer - sell side	17
商品管理ツール	17
Working with products	18
商品の検索	18
商品のリスト	19
商品の追加	19
商品の変更	22
商品の削除	32
Working with SKUs	33
SKU のリスト	33
商品の SKU の生成	33
商品 SKU の変更	34
SKU の削除	44
Working with attributes	44
属性の追加	44
属性の変更	45
属性の削除	45
属性値の追加	46
属性値の変更	47
属性値の削除	47
Working with prices	48
商品への価格の追加	48
商品の価格の変更	48
商品の価格の削除	49
商品の価格要約の表示	49
SKU への価格の追加	50
SKU の価格の変更	50
SKU の価格の削除	51
SKU の価格要約の表示	51
割引	52
割引の要約の表示	52
新規割引の作成	53
割引のアクティブ化	53
割引の非アクティブ化	53
割引の削除	54
クーポン販売促進	54
新規クーポン販売促進の作成	54
クーポン販売促進の配布	55
クーポン販売促進のリストの表示	55
クーポン販売促進の支援材料の登録	55
クーポン販売促進の削除	55
予定在庫	56
予定在庫のリスト	56
予定在庫レコードの作成	57
予定在庫レコードの変更	58

予定在庫レコードのクローズ	58
予定在庫レコードの削除	59
取引先	59
取引先のリスト	59
取引先の作成	59
取引先の変更	60
取引先の削除	60
運用レポート	61
運用レポートの作成および表示	61
オーダー要約レポート	63
納期切れバック・オーダーのレポート	64
オープンしている予定在庫レコードのレポート	65
オークション	65
オークション・ルール	66
オークション・タイプ	67
オークションの表示	67
オークションの作成	68
オークションの検索	68
オークションの管理	69
オークション・スタイル	71
入札ルール	72
オークション通知メッセージ	73
オークション・ギャラリー	74
ディスカッション・フォーラム	74
ディスカッションの管理	74
自動入札	75
第 3 章 Category Manager and Product Manager	77
マスター・カタログ	77
カタログ・ナビゲーション	77
カタログ・エントリー	79
Working with categories	80
カテゴリの検索	80
カテゴリのリスト	80
カテゴリの追加	81
カテゴリの変更	81
カテゴリの削除	84
レポート	85
販売促進イベント・モニター	85
統計カウンターの表示ソースの構成	86
WebSphere Commerce Analyzer レポート	87
WebSphere Commerce Analyzer レポートの使用可能化	87
WebSphere Commerce Analyzer レポートの表示	88
顧客プロファイル	88
e-マーケティング・スポット	89
広告コピー	90
顧客プロファイル要約の表示	90
新規顧客プロファイルの作成	90
顧客プロファイルの変更	91

顧客プロフィールの複製	91	キャンペーン・イニシアチブの削除	95
顧客プロフィールの削除	91	LikeMinds 5.2 により駆動される WebSphere	
キャンペーン	92	Commerce Recommendation Engine	96
新規キャンペーンの作成	92	付録. Learning Guides	97
キャンペーンの変更	92	バイヤー (販売サイド) の学習ガイド	97
キャンペーンの削除	93	カテゴリー・マネージャーの学習ガイド	97
キャンペーン・イニシアチブ	93	商品マネージャーの学習ガイド	98
キャンペーン・イニシアチブの表示	94	特記事項.	100
キャンペーンの新規イニシアチブの作成	94		
キャンペーン・イニシアチブの変更	95		
キャンペーン・イニシアチブの統計の表示	95		

第 1 章 商品管理役割

WebSphere Commerce では以下の商品管理役割がサポートされています。

- バイヤー (販売サイド) (1ページ)
- カテゴリー・マネージャー (3ページ)
- 商品マネージャー / 取引管理マネージャー (3ページ)

バイヤー (販売サイド)

バイヤーは販売用の商品を購入します。バイヤーは取引先またはサプライヤーとの関係処理したり、配送オプションや支払いオプションに関して好条件で希望商品を手に入るよう交渉したりします。バイヤーは価格を設定することができます。バイヤーは在庫を管理することにより、購買数量を決定し、在庫が適切に補充されるようします。



- 商品のリスト
- 新規商品の作成
- 商品情報の表示および変更
- 選択された商品の削除
- 商品価格の設定
- 商品価格の要約の表示
- 商品レポートの表示
- 商品属性のリスト
- SKU (在庫管理単位) のリスト
- SKU の生成
- 選択された商品と割引の関連付け
- 新規商品属性の作成
- 商品属性の表示および変更
- 商品属性の削除
- 属性の表示順序の変更
- 属性値のリスト
- 新規属性値の作成
- 属性値の表示および変更
- 属性値の表示順序の変更
- 属性値の削除
- 新規 SKU の作成
- SKU 情報の表示および変更
- SKU 価格の設定
- SKU 価格の要約の表示
- SKU の削除

- SKU と割引の関連付け
- 予定在庫のリスト
- 新規予定在庫レコードの作成
- 予定在庫レコードの表示および変更
- 選択された予定在庫レコードの受け取り商品の詳細の表示
- 予定在庫レコードの削除
- 予定在庫レコードのクローズ
- 予定在庫レポートの表示
- 取引先のリスト
- 新規取引先の作成
- 取引先情報の表示および作成
- 取引先の削除
- 割引のリスト
- 新規割引の作成
- 割引の要約の表示
- 割引のアクティブ化および非アクティブ化
- 割引の削除
- クーポンのリスト
- 新規クーポン販売促進の作成
- クーポン販売促進の削除
- ビジネス・インテリジェンス・レポートの表示
- オーダー管理レポートの表示
- オークションのリスト
- オークションの作成
- オークションの削除
- オークションの変更
- オークションのクローズ
- オークション・スタイル・テンプレートのリスト
- オークション・スタイル・テンプレートの作成
- オークション・スタイル・テンプレートの変更
- オークション・スタイル・テンプレートの削除
- 入札ルール of リスト
- 入札ルールの作成
- 入札ルールの変更
- 入札ルールの削除
- オークションの入札の撤回
- オークション・メッセージの変更
- オークション・フォーラムへの応答
- オークション・メッセージの削除

カテゴリ・マネージャー

カテゴリ・マネージャーは、カテゴリを作成、変更、および削除することによって、カテゴリ階層を管理します。カテゴリ階層は、ストアが提供する商品やサービスを編成したものです。カテゴリ・マネージャーは、商品、予定在庫レコード、取引先情報、在庫、および返品理由も管理します。



- 全バイヤー・タスク
- カテゴリのリスト
- 新規カテゴリの作成
- カテゴリ情報の表示および変更
- カテゴリの商品のリスト
- カテゴリの削除
- 商品アドバイザー統計の表示
- 商品探査統計の表示
- 商品比較統計の表示
- セールス・アシスタント統計の表示
- 返品理由のリスト
- 新規返品理由の作成
- 返品理由の表示および変更
- 返品理由の削除

 **Product Manager (商品マネージャー)** /  **Merchandising Manager (マーチャンダイジング・マネージャー)**

取引管理マネージャーまたは商品マネージャーは、顧客の購買を追跡記録し、割引を提案し、そしてオンライン・ストアにある商品の最善の表示方法および販売方法を決定します。


- 全カテゴリ・マネージャー・タスクの実行
- 全マーケティング・マネージャー・タスクの実行

WebSphere Commerce アクセラレーター

B2C ストアおよび B2B ストアの両方で WebSphere Commerce アクセラレーターを使ってさまざまなストア操作を実行することで、オンライン・ストアを保守することができます。ログオンして使用するストアを選択すると、システムは、選択したストアが B2C であるか、または B2B であるかを検出します。選択したストアのタイプによって、B2C または B2B 操作に固有のメニューが表示されます。オンライン・ヘルプを参照するとき、作業するストアのタイプと一致した説明を使用してください。B2C ストアに関連した情報は  アイコンによって示され、B2B ストアの情報は  アイコンによって示されます。

複数のストアを処理する権限がある場合に WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンしたときは、処理したいストアと言語を選択します。1 つのストアを処理する権限がある場合、ストア名はログオン中に事前に選択されており、ストアが

複数の言語をサポートしている場合は、処理したい言語を選択します。さらに、実行を担当するロールを割り当てられている場合は、ログイン時に該当ストアに関連した配送センターを選ぶこともできます。ストア、言語、または配送センターの選

択内容を変更する場合には、左上隅にある  アイコンをクリックすれば、いつでも選択ダイアログを表示できます。WebSphere Commerce アクセラレーターのホーム・ページにアクセスするには、**ホーム**をクリックします。


役割として実行の権限があるタスクは、WebSphere Commerce アクセラレーターのホーム・ページ・メニューに表示されています。これらのタスクは、管理コンソールを使用してサイト管理者によって定義されるユーザー役割と権限レベルを基盤とします。


B2C 以下の表では、使用可能なメニュー、メニューへのアクセス権保持者、および企業顧客間 (B2C) ストアのメニューを使用して実行できるタスクを説明します (企業間 (B2B) ストアに関する情報については、この次の表を参照してください。):

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
ストア名	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • オペレーション・マネージャー • セラー • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 承認要求のリスト、検索、承認、および拒否 • 各承認要求の要約の表示 • 承認の送信のリストおよび検索 • 各承認の送信の要約の表示 • 配送センターの作成、変更、および削除 • 返品理由の作成、変更、および削除 • Business コラボレーション・ワークスペースの作成、変更、削除、メンバーの追加、およびオープン • ビジネス・インテリジェンス・レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
操作	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • オペレーション・マネージャー • セラー • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客のリスト • 顧客登録情報の検索、作成、および変更 • 顧客のログオン・パスワードのリセット • オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 • 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル • 顧客のオーダー履歴の表示 • 各オーダーの要約の表示 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • バッチ支払いの検索 • Payment Manager へのアクセス • コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 • 各返品の要約の表示 • ピッキング・バッチおよび予定在庫レコードのリスト • 在庫および配送の追跡記録 • 顧客用のオークションのリストと検索 • リアルタイム顧客サポートの提供 • オーダー管理レポートの管理
マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • セラー 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客プロフィールのリスト、作成、変更、削除、および複製 • 各プロフィールの要約の表示 • キャンペーンのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーンの公開 • キャンペーン・イニシアチブのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーン・イニシアチブ統計の表示 • キャンペーン・イニシアチブの条件の作成、変更、および削除 • e-マーケティング・スポットの作成、変更、スケジュール、および削除 • 宣伝広告の作成、変更、削除 • 各宣伝広告の要約の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
商品取引	<ul style="list-style-type: none"> バイヤー 商品マネージャー セラー カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の検索とリスト 商品詳細情報の変更 カテゴリーの検索およびリスト 予定在庫レコードの検索およびリスト 商品の取引先の検索およびリスト オークションの検索、リスト、作成、変更、および撤回 オークションに対する入札のクローズ 顧客の入札のリストおよび撤回 ディスカッション・メッセージの作成および応答、またメッセージを公開するなどのディスカッション・フォーラムの管理 ディスカッション・メッセージの作成および削除 ディスカッション・メッセージに対する応答 ディスカッション・メッセージの公表 入札ルール of リスト 入札ルールの作成、変更、および削除 オークション・スタイルのリスト オークション・スタイルの作成、変更、および削除 割引のリスト、作成および削除 各割引の要約の表示 割引の活動化および非活動化 クーポンのリスト、作成および削除 商品アドバイザー統計の表示

 以下の表で、使用可能なメニュー、メニューへのアクセス権保持者、B2B ストアのメニューを使用して実行できるタスクの概要を示します (B2C ストアに関連する情報は、これの前の表を参照してください。):

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
ストア名	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • 物流管理マネージャー • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 承認要求のリスト、検索、承認、および拒否 • 各承認要求の要約の表示 • 承認の送信のリストおよび検索 • 各承認の送信の要約の表示 • 配送センターの作成、変更、および削除 • 返品理由の作成、変更、および削除 •  コラボレーション・ワークスペースの作成、変更、削除、メンバーの追加、およびオープン • 運用レポートの管理 • ビジネス・インテリジェンス・レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
セールス	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • 物流管理マネージャー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> •  アカウントのリストと検索 •  RFQ (見積依頼) のリストと検索 •  商品個別設定属性の作成、変更、および削除 • 顧客のリスト • 顧客登録情報の検索、作成、および変更 • 顧客のログオン・パスワードのリセット • オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 • 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル • 顧客のオーダー履歴の表示 • 各オーダーの要約の表示 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • バッチ支払いの検索 • Payment Manager へのアクセス • コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 • 各返品の要約の表示 • 顧客用のオークションのリストと検索 • オーダー管理レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客プロフィールのリスト、作成、変更、削除、および複製 • 各プロフィールの要約の表示 • キャンペーンのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーンの公開 • キャンペーン・イニシアチブのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーン・イニシアチブ統計の表示 • キャンペーン・イニシアチブの条件の作成、変更、および削除 • e-マーケティング・スポットの作成、変更、スケジュール、および削除 • 宣伝広告の作成、変更、削除 • 各宣伝広告の要約の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
商品	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 商品マネージャー • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 商品の検索とリスト • 商品詳細情報の変更 • カテゴリーの検索およびリスト • 予定在庫レコードの検索およびリスト • 商品の取引先の検索およびリスト • オークションの検索、リスト、作成、変更、および撤回 • オークションに対する入札のクローズ • 顧客の入札のリストおよび撤回 • ディスカッション・メッセージの作成および応答、またメッセージを公開するなどのディスカッション・フォーラムの管理 • ディスカッション・メッセージの作成および削除 • ディスカッション・メッセージに対する応答 • ディスカッション・メッセージの公表 • 入札ルール of リスト • 入札ルールの作成、変更、および削除 • オークション・スタイルのリスト • オークション・スタイルの作成、変更、および削除 • 割引のリスト、作成および削除 • 各割引の要約の表示 • 割引の活動化および非活動化 • クーポンのリスト、作成および削除 • 商品アドバイザー統計の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
物流管理	<ul style="list-style-type: none"> 荷造り業者 受取人 返品担当者 物流管理マネージャー セラー 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客登録情報の検索、作成、および変更 顧客のログオン・パスワードのリセット オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル 顧客のオーダー履歴の表示 各オーダーの要約の表示 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 バッチ支払いの検索 Payment Manager へのアクセス コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 各返品の要約の表示 ピッキング・バッチおよび予定在庫レコードのリスト 在庫および配送の追跡記録 顧客用のオークションのリストと検索 リアルタイム顧客サポートの提供 オーダー管理レポートの管理


WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザー・インターフェース

WebSphere Commerce アクセラレーターのインターフェースは、複数のノートブック、ウィザード、ダイアログ、およびリストから構成され、タスクを完了するのに役立ちます。 ヘルプを立ち上げるヘルプ・リンクが、各ページの右上隅にあります。

ノートブックとウィザードは、一連のページで構成されます。 顧客プロフィールや商品価格など、WebSphere Commerce システム内の既存の情報を変更する場合にノートブックをオープンします。 ノートブックをナビゲートするには、左側のリンクを使用します。 **OK** をクリックしてノートブックをクローズします。 ノートブックは、その中の 1 ページや数ページだけを使用することができ、それらを順番に進む必要はありません。 ウィザードを進行するにつれて、左側は動的に最新表示され、作成処理のどの段階にいるのかが示されます。

新規カスタマー・オーダーや新規商品キャンペーンなど、新しい情報を作成する場合に、ウィザードが起動されます。 ウィザードをナビゲートするには、「次へ」および「前へ」ボタンを使用し、ページを完了したら「終了」をクリックします。 ノートブックと違って、ウィザードの中は順番に進む必要があります。

ダイアログは単独のページで、タスクを完了するための情報を入力することができます。たとえば、検索ダイアログには検索基準フィールドが設けられています。該当する情報を指定して、「検索」をクリックします。検索結果がリストで表示されます。リストで以下のタスクを実行することができます。

- 特定のリスト項目を処理するには、以下の中から 1 つを行ってください。
 - アイテムの横にあるチェック・ボックスを選択してから、ページ上のボタンの 1 つをクリックします。
 - リストの最初の列からアイテムを選択して、(既存の割引の詳細情報などの) 情報を変更するか、または (カスタマー・オーダーの詳細情報などの) 要約を表示します。
- 検索結果リストのすべてのアイテムを選択するには、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択します。
- リストを列別にソートするには、該当する列見出しの横の  アイコンをクリックします。この列を基準にしてリストが昇順にソートされます。
- 長いリストをナビゲートするには、「先頭」、「最終」、「次へ」、または「前へ」をクリックします。また、特定のページに直接移動するには、「ページ番号」フィールドにページ番号を入力してから **GO** をクリックします。このリストの先頭には必ず、現在のページ番号と合計ページ数が示されます。

WebSphere Commerce アクセラレーターでは、タスク完了のために表示したノートブック、ウィザード、ダイアログ、およびリストの履歴も管理しています。履歴は WebSphere Commerce アクセラレーターの右上に表示されます。タスクを過去の時点に戻すには、履歴の中の対応するリンクをクリックしてください。WebSphere Commerce アクセラレーターの中でメニュー・オプションを選択したりアクション・ボタンをクリックしたりすると、進行標識が表示されます。アクションが完了すると、該当するページ名により履歴が更新されます。

履歴は 6 項目まで表示されます。**ホーム**、**ログアウト**、および現行ページへのリンクは常に並んで表示されていますが、間にあるアイテムは、履歴表示域に応じて、先へ進むにつれて前のものが除去され、後のものが追加されていきます。

ノートブックを使用時に、各ページを切り替える場合は、左側のリンクをクリックします。変更を保管してノートブックをクローズするには、任意のページから **OK** をクリックします。ウィザードを使用時には、**次へ**をクリックすると、次のページへ進行します。変更を保管してウィザードをクローズするには、最終ページから**終了**をクリックします。また、情報を保管したくない場合は、ノートブックまたはウィザードのどちらの場合も、**キャンセル**をクリックしてください。情報を保管せずに履歴をナビゲートすると、その情報が失われることを伝える警告メッセージが表示されます。


WebSphere Commerce アクセラレーター・タスクが完了したら、ただブラウザをクローズするのではなく、セッションが切れるように WebSphere Commerce アクセラレーターからログアウトしてください。ログアウトするには、WebSphere Commerce アクセラレーターの履歴から**ログアウト**をクリックします。ログアウトすると、SSL cookie はドロップされ、WebSphere Commerce アクセラレーターへのセキュア・アクセスを失います。これは特に WebSphere Commerce アクセ

ラレーターが、単一のマシンで、異なる権限をもつ複数のユーザーで使用されている場合に重要です (ログアウトによって無許可アクセスを防ぐため)。

WebSphere Commerce アクセラレーターのオープン





WebSphere Commerce アクセラレーターは、下記手順でオープンします。

1. Microsoft Internet Explorer 5.5 以上がインストールされたマシンを使用していることを確認する (推奨ブラウザ・バージョンは 5.5)。これより前のバージョンの Internet Explorer や他のブラウザでは、WebSphere Commerce アクセラレーターを表示することはできません。
2. WebSphere Commerce インスタンスが開始していることを確認する。インスタンスは、WebSphere Application Server 管理コンソールを使用して開始できません。
3. WebSphere Commerce アクセラレーターが、デフォルトの Internet Explorer ブラウザー設定をサポートするようにする。設定を変更した場合、あるいは設定を検証するには、「ツール」メニューを選択して「インターネット オプション」を選択します。「インターネット オプション」ダイアログがオープンされます。以下の設定が構成されていることを確認してください。
 - 以下の要領でフォントを設定する。
 - a. 全般タブから、フォントをクリックする。フォント・ダイアログがオープンされます。
 - b. 言語リストから、日本語を選択する。
 - c. Web ページ フォント・リストから、MS ゴシック を選択する。
 - d. テキスト形式フォント・リストから、MS ゴシック を選択する。
 - e. 「OK」 をクリックします。その他のフォントおよびフォント・サイズは、画面上の WebSphere Commerce アクセラレーターのフォームのレイアウトに影響を与える場合があります。
 - 以下の要領でキャッシュを使用可能にする。
 - a. 全般タブの、インターネット一時ファイルで、設定をクリックする。設定ダイアログがオープンされます。
 - b. 保管しているページの新しいバージョンの確認で、自動的に確認するを選択する。
 - c. キャッシュのために使用されるディスク・スペース容量がゼロより大に設定されていることを確認する。
 - d. OK をクリックします。
4. 最適の結果を得るために、コンピューターの設定を以下のように調整する。
 - 画面の解像度を少なくとも 800 x 600 ピクセルに設定する。1024 x 768 ピクセルを推奨します。
 - モニターのカラー・パレットを 256 色以上に設定する。
 - Windows デスクトップの表示 フォント・サイズを小さいフォントに設定する。

 Windows マシンから、コンピューターの設定を処理するために、「スタート」、「コントロール パネル」、「画面」、および「設定」タブをクリックし、以下を行います。

- 画面の領域ボックスで、画面の解像度が少なくとも 800 x 600 ピクセルであることを確認する。1024 x 768 ピクセルを推奨します。
 - 色ドロップダウン・リストから、256 色を選択する。
 - フォント・サイズ・ドロップダウン・リストから、小さいフォントを選択する。
5. ブラウザー・ウィンドウを最大化する。
 6. 以下のいずれかを行って、WebSphere Commerce アクセラレーターを開始する。

•  WebSphere Commerce がインストールされているマシン上で「スタート」、「プログラム」、「IBM WebSphere Commerce」、および「WebSphere Commerce Accelerator (WebSphere Commerce アクセラレーター)」をクリックする。


•     WebSphere Commerce がインストールされているマシン、または WebSphere Commerce マシンと同じネットワーク上のクライアント・マシンから、ブラウザーで以下の Web アドレスにアクセスする。

`https://host_name:8000/accelerator` ここで *host_name* は、WebSphere Commerce サーバーの完全修飾 HTTP ホスト名です。

7. 以下のようにして WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンする。
 - a. 「ログオン」ページから、WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・ユーザー名とパスワードを入力する
 - b. 初期値では、ユーザー名とパスワードは両方とも `wcsadmin` に設定されています。デフォルト ID と `wcsadmin` のパスワードで初めて WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンする場合は、「パスワード変更」ページが表示され、このパスワードの変更を促すプロンプトが出されます。以下のようにします。

- 1) 旧パスワード・フィールドに、現在の WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・パスワードを入力する。

    このフィールドは、128 字までの単一バイト英数字を受け入れます。

 このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

- 2) 新規パスワード・フィールドに、新規のログオン・パスワードを入力する。

    このフィールドは、128 字までの単一バイト英数字を受け入れます。

 このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

- 3) 「確認パスワード」フィールドに、その新規パスワードを再入力する。
- 4) 変更をクリックして、新規パスワードを保管する。「ストア情報の選択」ページが表示されます。

注: ストアが 1 つ、言語が 1 つだけ定義され、配送センターが定義され

ていない場合は、「ストア情報の選択」ページが表示されます。ホーム・ページへは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「ログオン」ページから直接移ることができ、7 c ~ f のステップを完了する必要はありません。

- c. 「ストア情報の選択」の「名前」ドロップダウン・リストから、ストアの名前を選択します。単一ストアでの操作が許可されている場合、ストア名は事前選択されます。
- d. 「言語」ドロップダウン・リストから、ストアの管理に使用する言語を選択します。単一言語での操作が許可されている場合、言語は事前選択されません。
- e. 配送業務にかかわる役割が割り当てられている場合は、「配送センター」ドロップダウン・リストから、ストアに関連した配送センターの名前を選択します。
- f. 「OK」をクリックします。「WebSphere Commerce Accelerator」ホーム・ページが表示されます。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

注:

- WebSphere Commerce アクセラレーターの使用中に、ブラウザの「最新表示」または「戻る」ボタンをクリックしないでください。何かデータを入力した後でウィンドウを再ロードすると、そのデータは失われます。
- WebSphere Commerce アクセラレーター・タスクが完了したら、ただブラウザをクローズするのではなく、セッションが切れるように WebSphere Commerce アクセラレーターからログアウトしてください。ログアウトするには、WebSphere Commerce アクセラレーターの右上に表示されているヒストリーから、**ログアウト**をクリックする。ログアウトすると、SSL cookie はドロップされ、WebSphere Commerce アクセラレーターへのセキュア・アクセスを失います。これは特に WebSphere Commerce アクセラレーターが、単一のマシンで、異なる権限をもつ複数のユーザーで使用されている場合に重要です (ログアウトによって無許可アクセスを防ぐため)。

第 2 章 Buyer - sell side

商品管理ツール

WebSphere Commerce アクセラレーターの商品管理ツールにより、様々なウィザードやノートブックを使用して、ストアのマスター・カタログ内の商品を管理することができます。

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して、以下を処理できます。

- **商品:** 商品は SKU のテンプレートとして機能します。最終的に顧客に販売される個々のアイテムです。「Product Wizard (商品ウィザード)」を使用することにより、カタログの新しい商品を作成できます。商品の詳細 (名前、説明、およびイメージなど) の表示や変更、またはカタログからの商品の削除を行うには、「Product Notebook (商品ノートブック)」を使用します。商品の税、割引、および配送カテゴリーを更新したり、各商品の配送の測定単位を追加したりできます。在庫のトラッキングやオーダーでの商品のバック・オーダーなど、商品の配送オプションをカスタマイズできます。
- **SKU:** 商品を作成したら、販売する商品の各オーダー可能アイテムを表す SKU を作成しなければなりません。特定の商品に関連するすべての SKU アイテムは同じ属性セットを示し、それらの属性値によって区別されます。SKU は「SKU Wizard (SKU ウィザード)」を使用して作成します。または、必要な商品属性をすべて作成することにより、商品の SKU を自動的に生成できます。「SKU Notebook (SKU ノートブック)」を使用することにより、SKU の詳細 (名前、説明、およびイメージなど) の表示や変更、またはカタログからの SKU の削除を行えます。消費税、割引、および配送カテゴリーを更新したり、各 SKU の配送の測定単位を追加したりできます。
- **カテゴリー。** カテゴリー (カタログ・グループとも呼ばれる) は、ストアによって提供される商品またはサービスを編成するのに使用される、類似したプロパティを持つオブジェクトのグループです。カテゴリーの作成、検索、リスト、変更、および削除を行えます。商品および SKU を別の親カテゴリーの下に分類できます。
- **属性:** 属性は、カラーやサイズなどの、オンライン・ストア内の SKU のプロパティです。属性値は、特定のカラー (青または黄色) やサイズ (M) などの、属性のプロパティになります。属性値を SKU に割り当てる前に、それを事前に定義しておく必要があります。属性値は暗黙的にその属性と関連しています。それぞれの属性と属性値の可能な組み合わせは、新しい SKU と等しくなります。属性とその値を作成したら、名前、説明、およびタイプ (テキスト、整数、または 10 進数) などの情報を更新できます。
- **価格設定:** 1 つ以上の通貨で表された商品または SKU の価格で、さまざまな数量 (1 ~ 5 や 6 以上など) での価格の設定などの条件セットと共に示されるもの。示された価格を使用するには、条件が満たされる必要があります。商品または SKU に関連付けられた価格設定の作成、リスト、および変更を行えます。



同様に、Catalog Manager Web エディターを使用して、使用するカタログを管理することができます。この Web エディターを使用すると、カタログ・データを作成、削除、または変更することができます。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

Working with products

商品の検索




商品を検索するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品の検索」をクリックする。
 「商品」メニューから、「商品の検索」をクリックします。
検索ダイアログがオープンされます。
3. 以下のいずれかの商品情報を指定する (注: 検索基準に、%、¥、“、_、および # といった文字を含めないようにしてください)。
 - **SKU** フィールドには、一意的に定義する在庫保有単位 (SKU) を入力する。次にこのフィールドの横にあるドロップダウン・リストから、以下のように検索方法を選択する。
 - 商品の SKU がわかっている場合は、**完全一致検索**を選択し、指定した SKU に完全に一致する商品を検索する。完全一致検索が行われます。
 - 商品の SKU の一部しかわかっていない場合は、**以下を含む一致**を選択し、指定した検索基準の語を含む SKU の商品を検索する。システムはファジー検索を実行します。
 - **名前**フィールドには、商品名を入力し、フィールドの横にあるドロップダウン・リストから、以下のように検索方法を選択する。
 - 商品名がわかっている場合は、**完全一致検索**を選択し、指定した商品名に完全に一致する商品を検索する。完全一致検索が行われます。
 - 商品の名の一部しかわかっていない場合は、**以下を含む一致**を選択し、指定した検索基準の語を含む名前の商品を検索する。システムはファジー検索を実行します。
 - **簡略説明**フィールドには、商品を記述するキーワードを入力し、フィールドの横にあるドロップダウン・リストから、以下のように検索方法を選択する。
 - 商品の簡略説明が完全にわかっている場合は、**完全一致検索**を選択し、指定した簡略説明に完全に一致する商品を検索する。完全一致検索が行われます。
 - 商品の簡略説明の一部しかわかっていない場合は、**以下を含む一致**を選択し、簡略説明が指定した検索基準の語を含む商品を検索する。システムはファジー検索を実行します。

- 「**カテゴリ ID**」フィールドには、その商品が関連付けられたカテゴリの参照番号を入力する。このフィールドに値を指定した場合、**検索**をクリックすると、このフィールドを基準に完全一致検索が行われます。
4. 「**検索**」をクリックする。検索基準に一致する商品のリストが表示されます。



商品のリスト

商品のリストを表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。
ストアの商品リストが表示されます。
3. 個々の商品进行处理するには、商品の左のチェック・ボックスを選択し、ページにあるボタンのいずれかをクリックする。
4. このリストのすべての商品を選択する場合は、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択する。
5. リストを列でソートするには、該当する列見出しの横にある  アイコンをクリックする。この列を基準にしてリストが昇順にソートされます。たとえば、名前を基準に昇順でソートするには、「名前」列の見出しをクリックします。
6. リスト内を移動するには、画面上部にある「先頭」、「前へ」、「次へ」、または「最終」の各リンクを使用する。






商品の追加

ストアに商品を追加するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。
ストアの商品リストが表示されます。
3. 「新規」をクリックする。「一般」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
 - 「商品コード」フィールドに、この商品を一意的に識別する SKU を入力する。
 - 名前フィールドに、“25 ピース木製自動車セット” などの商品名を入力する。
 - 「顧客に表示」チェック・ボックスを選択して、商品をカタログで表示できるようにする。このチェック・ボックスは、CD のように属性をもっていない商品にしか適用できないので注意してください。
 - 「購入用」チェック・ボックスを選択して、顧客が、この商品をショッピング・カートに入れて、オーダーできることを示す。商品がオークション対象である場合、このチェック・ボックスは読み取り専用で消去できません。
4. 「次へ」をクリックする。「説明」ページが表示されます。以下の情報を追加します。






- **簡略説明**フィールドには、“婦人用皮製ロング・コート”などの簡単な説明を入力する。
 - **「詳細説明 1」** スクロール・ボックスには、“婦人用皮製ロング・コート。黒の本皮でライナーが取り外しできますので、1年を通して着られます。また、シックなボタンとベルト、合わせ目が細くなった加工になっており、全体的にクラシックな雰囲気を演出しています。”など、SKUの詳細説明を入力する。
 - **「詳細説明 2」** スクロール・ボックスには、必要に応じて2番目の商品の詳細説明を入力する。
 - **「詳細説明 3」** スクロール・ボックスには、必要に応じて3番目の商品の詳細説明を入力する。
5. 「次へ」をクリックする。「カテゴリー」ページが表示されます。商品の適切な親カテゴリーを選択します。
 6. 「次へ」をクリックする。「イメージ」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
 - **「フルサイズのイメージ・ファイルおよびロケーション」**フィールドに、イメージ名を含めた、イメージへの絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater_full.gifの相対パスは、以下のように指定できます。

```

-  %images%bluesweater_full.gif
-    
  /images/bluesweater_full.gif.

```

- **「サムネール・イメージ・ファイルおよびロケーション」**フィールドに、イメージ名を含めた、イメージへの絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater_thumb.gifの相対パスは、以下のように指定できます。
- ```

-  %images%bluesweater_thumb.gif
-    
 /images/bluesweater_thumb.gif.

```
7. 「次へ」をクリックする。「製造業者情報」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
    - **「部品番号」**フィールドに、取引先でその商品の固有識別に使用している部品番号を入力する。
    - **「製造業者」**フィールドに、その商品の取引先の名前を入力する。
  8. 「次へ」をクリックする。「割引」ページが表示されます。以下のようになります。
    - **「適用可能な割引」**リストから割引名を選択し、「追加」をクリックする。
  9. 「次へ」をクリックする。「消費税」ページが表示されます。以下のようになります。
    - **「適用可能な税」**リストから税の名前を選択し、「追加」をクリックする。
  10. 「次へ」をクリックする。「配送税」ページが表示されます。以下のようになります。
    - **「適用可能な税」**リストから税の名前を選択し、「追加」をクリックする。

11. 「次へ」をクリックする。「配送カテゴリー」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 「適用可能なカテゴリー」リストからカテゴリー名を選択し、「追加」をクリックする。
12. 「次へ」をクリックする。「Units of Measure for Shipping (配送の計測単位)」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 「Weight (重量)」フィールドに、商品の重量を入力する。
  - 「Weight Measure (重量単位)」フィールドで、上記の重量の計測単位を選択する。
  - 「Sold in Multiples of this Quantity (この数量の倍数で販売)」フィールドに、商品を販売する倍数を入力する。
  - 「Number of Items per Package (パッケージあたりのアイテム数)」フィールドに、商品に含まれるパッケージあたりのアイテム数を入力する。
  - 「Unit of Measure (計測単位)」フィールドで、この商品に使用する計測単位を選択する。
13. 「次へ」をクリックする。「商品配送」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 「在庫調査」を選択して、配送センター用に商品在庫をトラックする。
  - 「バック・オーダーの許可」を選択すると、顧客がバック・オーダーの受諾を選択した場合に商品をバック・オーダーできます。
  - 「バック・オーダーの強制」を選択すると、商品の割り振りを一時的に中断します。顧客がこの商品のオーダーを発行する場合、使用可能な在庫があるとしても、その商品はバック・オーダーに置かれます。
  - 「個別リリース」を選択すると、その商品はオーダー内の他の商品とは別個にパッケージされて配達されます。たとえば、シャンデリアのような壊れやすいアイテムは、商品を損傷する可能性を避けるため、他のアイテムとは別個に箱詰めしなければなりません。
  - 「返品不可」を選択すると、配送センターが商品の返品を予期する必要があるかどうかを示すことができます。
  - 「Reorder in Multiples of this Amount (再オーダーの単位となる個数)」フィールドには、在庫システムにより測定または記録できる最小数を入力します。在庫数は整数単位で記録されます。この数と、指定する計測単位によって、各整数単位が表す量を示します。たとえば、織物製品がインチで計測されて切り売りされる場合、1 インチを指定します。注: 一度この商品の指定されたアイテムを定義すると、この数字を変更することはできません。この数字はデータベース内に記録されているこの商品のすべての数字の意味に影響するからです。
  - 「計測単位」ドロップダウン・リストから、商品に使用される計測単位を選択する。
14. 「次へ」をクリックする。「拡張」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
  - URL フィールドに、顧客が商品をダウンロードできる (商品がソフトウェアの場合)、または商品の詳細情報を入手できる URL を入力する。URL にブランク・スペースを入れないようにしてください。



15. 「OK」をクリックして商品を保管する。

注:

- SKU を作成するには、商品に属性を追加する必要があります。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の変更



商品名、商品コード、説明、イメージ、属性、在庫、表示価格、税および配送料、割引、または製造業者など、商品に関する情報を変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 必要に応じてフィールドを更新し、左側のリンクを使用して、各商品ページを切り替える。各ページではヘルプを利用できます。
5. 「OK」 をクリックして、変更を保管してノートブックをクローズする。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の商品コードの変更



商品の商品コードを変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。「商品コード」フィールドに、この商品を一意的に識別する商品コードを入力します。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した商品名を保管しノートブックをクローズするには、OK をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品名の変更

商品名を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。名前フィールドに、“25 ピース木製汽車セット”などの商品名を入力する。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した商品名を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

### 注:

- 商品名は言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアの商品名を変更したい場合には、各ストアの名前フィールドを変更する必要があります。別の言語で作業するには、左上隅にある、





アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品取引管理オプションの変更


商品の取引管理オプションを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。以下の要領で販売条件を変更します。

- 顧客に商品を表示することを指定するには、**顧客に表示**チェック・ボックスを選択する。このチェック・ボックスは、CDのように属性をもっていない商品にしか適用できないので注意してください。
  - 顧客が商品をショッピング・カートに入れてオーダーできることを指定するには、**販売用**チェック・ボックスを選択する。商品がオークション対象である場合、このチェック・ボックスは読み取り専用で消去できません。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した販売条件を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:**



- **顧客に表示**チェック・ボックスの状況は言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアの表示状況を変更したい場合には、各ストアの**顧客に表示**チェック・ボックスを変更する必要があります。

す。別の言語で作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

**商品の非表示**


ある商品が一時的に在庫切れになっている場合などに、商品が顧客に表示されないように非表示にするには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。**顧客に表示**チェック・ボックスのチェックを外す。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。ノートブックを非表示およびクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:**

- **顧客に表示**チェック・ボックスの状況は言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアで商品を非表示したい



場合には、各ストアの顧客に表示チェック・ボックスを消去する必要があります。

別の言語で作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品説明の変更


商品説明を変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、説明をクリックする。「説明」ページが表示されます。
5. 以下の要領で商品説明を変更する。
  - 簡略説明フィールドには、“婦人用皮製ロング・コート”などの簡単な説明を入力する。
  - 「詳細説明 1」スクロール・ボックスには、“婦人用皮製ロング・コート。黒の本皮でライナーが取り外しできますので、1 年を通して着られます。また、シックなボタンとベルト、合わせ目が細くなった加工になっており、全体的にクラシックな雰囲気を演出しています。”など、SKU の詳細説明を入力する。
  - 「詳細説明 2」スクロール・ボックスには、必要に応じて 2 番目の商品の詳細説明を入力する。
  - 「詳細説明 3」スクロール・ボックスには、必要に応じて 3 番目の商品の詳細説明を入力する。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した商品説明を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

### 注:

- 商品説明は言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオフアーされ、その両方のストアの説明を変更したい場合には、各ストアの「簡略説













明」、「詳細説明 1」、「詳細説明 2」、および「詳細説明 3」フィールドを変

更する必要があります。別の言語で作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品イメージの変更

商品イメージ、またはイメージの場所を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、イメージをクリックする。「イメージ」ページが表示されます。
5. 以下の要領で商品イメージの名前または場所を変更する。
  - 商品のフルサイズ・イメージ (大きいイメージ表示のこと) を変更するには、フルサイズ・イメージ・ファイルおよび場所フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater\_full.gifの相対パスは、以下のように指定できます。
    -  ¥images¥bluesweater\_full.gif
    -      
/images/bluesweater\_full.gif.
  - 商品のサムネイル (小さいイメージ表示のこと) を変更するには、サムネイル・イメージ・ファイルおよび場所フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater\_thumb.gifの相対パスは、以下のように指定できます。
    -  ¥images¥bluesweater\_thumb.gif
    -      
/images/bluesweater\_thumb.gif.
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更したイメージ名または場所を保管しノートブックをクローズするには、OK をクリックする。

注:



- 商品イメージは言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアのイメージまたはイメージ場所を変更したい場合には、各ストアに対して新規の情報を提供する必要があります。別の言語で作





業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の製造業者情報の変更

商品の製造業者情報を変更するには、以下のようにします。



- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
-  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
- 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
- 左側のナビゲーション・フレームから、「製造業者」をクリックする。「製造業者」ページが表示されます。
- 以下の要領で製造業者情報を変更する。
  - 製造業者商品の部品番号を変更する場合は、「**Manufacturer part number (製造業者の部品番号)**」フィールドに、製造業者でその商品の固有識別に使用している部品番号を入力する。
  - 製造業者名を変更する場合は、「**製造業者**」フィールドに、その商品の製造業者名を入力する。
- この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した製造業者情報を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の割引指定の変更

ある商品に割引を追加する、または商品に指定されていた割引を除去するなど、商品の割引指定を変更するには、以下のようにします。



- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、割引をクリックする。「割引」ページが表示されます。
5. 以下の要領で割引指定を変更する。
  - 商品に割引を指定するには、適用可能な割引リストから割引名を選択し、追加をクリックする。
  - 商品に指定されていた割引を除去するには、選択済みの割引リストから割引名を選択し、除去をクリックする。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した割引指定を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の税指定の変更

商品の消費税または配送税指定を変更するには、以下のようになります。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. “電気製品消費税” など、商品の消費税を変更するには、左側のナビゲーション・フレームから消費税をクリックする。「消費税」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 商品に消費税を指定する場合は、適用可能な税リストから税の名前を選択し、追加をクリックする。
  - 商品に指定された消費税を除去する場合は、選択済みの税リストから税の名前を選択し、除去をクリックする。
5. “翌日配送税” など、商品の消費税を変更するには、左側のナビゲーション・フレームから配送税をクリックする。「配送税」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 商品に配送税を指定する場合は、適用可能な税リストから税の名前を選択し、追加をクリックする。
  - 商品に指定された配送税を除去する場合は、選択済みの税リストから税の名前を選択し、除去をクリックする。

6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した税指定を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

### 商品の配送カテゴリーの変更



通常、配送カテゴリーは、重量、サイズ、または金額の範囲を基準に定義されます。たとえば、L サイズのオーダー、M サイズのオーダー、S サイズのオーダーという配送カテゴリーを設定するという具合です。異なる配送カテゴリーに対しては、異なる配送料金または税が割り当てられます。商品の配送カテゴリーを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、**配送カテゴリー**をクリックする。「配送カテゴリー」ページが表示されます。
5. 以下の要領で商品の配送カテゴリーを変更する。
  - 商品に“出荷重量 15 ポンド超”などの配送カテゴリーを指定するには、**適用可能なカテゴリー・リスト**からカテゴリー名を選択し、**追加**をクリックする。
  - 商品に指定された配送カテゴリーを除去するには、**選択済みカテゴリー・リスト**からカテゴリー名を選択し、**除去**をクリックする。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した配送カテゴリーを保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

### 商品の配送計測単位の変更

商品の配送の計測単位を変更するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。

4. 左側のナビゲーション・フレームから、「Units of Measure (計測単位)」をクリックする。「Units of Measure for Shipping (配送の計測単位)」ページが表示されます。
5. 以下の要領で配送の測定情報を変更する。
  - 「Weight (重量)」フィールドで、変更する商品の重量を入力する。
  - 「Weight Measure (重量の計測単位)」フィールドで、上記の重量の新しい計測単位を選択する。
  - 「Sold in Multiples of this Quantity (販売単位となる個数)」フィールドで、販売単位となる商品の個数の変更値を入力する。
  - 「Number of items per package (パッケージ当たりのアイテム数)」フィールドで、商品に含まれるパッケージ当たりのアイテム数の変更値を入力する。
  - 「Unit of Measure (計測単位)」フィールドで、この商品に使用する計測単位を選択する。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した配送計測単位情報を保管してノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品在庫の調査



配送センターの商品在庫を調査するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、「配送」をクリックする。「商品配送」ページが表示されます。
5. 「在庫調査」チェック・ボックスを選択して、配送センターの商品在庫を調査する。在庫状況報告が作成されます。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した配送オプションを保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

## オーダーに関する商品配送のカスタマイズ



商品配送をオーダーに関してカスタマイズするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、「配送」をクリックする。「商品配送」ページが表示されます。次のオプションから選択します。
  - 「バック・オーダーの許可」を選択すると、顧客がバック・オーダーの受諾を選択した場合に商品をバック・オーダーできます。
  - 「バック・オーダーの強制」を選択すると、商品の割り振りを一時的に中断します。顧客がこの商品のオーダーを発行する場合、使用可能な在庫があるとしても、その商品はバック・オーダーに置かれます。
  - 「個別リリース」を選択すると、その商品はオーダー内の他の商品とは別個にパッケージされて配達されます。たとえば、シャンデリアのような壊れやすいアイテムは、商品を損傷する可能性を避けるため、他のアイテムとは別個に箱詰めしなければなりません。
  - 「Returnable (返品可能)」を選択すると、配送センターが商品の返品を予期する必要があるかどうかを示すことができます。
  - 「Creditable (クレジット可能)」を選択すると、顧客が返品して払い戻しを受けられることを示します。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した配送オプションを保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

## 再オーダーのための商品のボリューム・パラメーターの変更

将来の再オーダーに備えて、商品を再オーダーする単位および計測単位などの商品のボリューム・パラメーターを変更するには、以下のようになります。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、「配送」をクリックする。「商品配送」ページが表示されます。以下のようになります。
  - 「Enter the smallest amount that can be measured (測定できる最小数を入力)」フィールドには、在庫システムにより測定または記録できる最小数を入力します。在庫数は整数単位で記録されます。この数と、指定する計測単位によって、各整数単位が表す量を示します。たとえば、商品がジャガイモ 2 キログラム入りの袋 (キログラム単位での価格設定) の場合、袋単位でしかりオーダーできないことを示すには **2** を入力します。 **注:** 一度この商品の指定

されたアイテムを定義すると、この数字を変更することはできません。この数字はデータベース内に記録されているこの商品のすべての数字の意味に影響するからです。

- 「Unit of Measure (計測単位)」 ドロップダウン・リストから、この商品に使用する計測単位を選択する。この例では、「キログラム」を選択することになります。
5. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。再オーダーのための変更した商品仕様を保管してノートブックをクローズするには、「OK」 をクリックする。

## 商品 URL の変更



ソフトウェアをダウンロードできる Web ページなどの、商品 URL を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、**拡張**をクリックする。「拡張」ページが表示されます。
5. **URL** フィールドに、顧客が商品をダウンロードできる (商品がソフトウェアの場合)、または商品の詳細情報を入手できる URL を入力する。URL にブランク・スペースを入れないようにしてください。
6. この商品に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した URL を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の削除

商品を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 削除したい商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「削除」をクリックする。
4. カタログから商品が除去されます。

**注:**



- 商品を削除すると、関連した SKU もすべて削除されます。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

---

## Working with SKUs



### SKU のリスト

商品の SKU のリストを表示するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックする。使用可能な SKU のリストが表示されます。
4. このリストのすべての SKU を選択する場合は、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択する。
5. リスト内を移動するには、画面上部にある「先頭」、「前へ」、「次へ」、または「最終」の各リンクを使用する。

### 商品の SKU の生成

SKU を生成するには、その前に属性と属性値を作成しなければならないことに注意してください。商品の SKU を生成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. 選択した商品の属性を作成する。
5. ステップ 4 で新しく作成した属性の属性値を作成し、メインの商品ビューに戻る。
6. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを再度選択し、「SKU の生成」をクリックする。
7. SKU を正常に生成し終わったら、「SKU」をクリックして、新しく作成した商品 SKU をリストする。



**重要:**

- 属性と属性値の作成はまずストアのデフォルト言語で行い、サポートする言語での作成はその後で行ってください。

- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品 SKU の変更



商品の商品 SKU を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックする。使用可能な SKU のリストが表示されます。
4. 作業を行う SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択して「商品の変更」ノートブックをオープンし、「変更」をクリックする。
5. 必要に応じてフィールドを更新し、左側のリンクを使用して、各 SKU ページを切り替える。各ページではヘルプを利用できます。
6. 変更した SKU を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU コードの変更

SKU コードを変更するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。「SKU コード」フィールドに、WebSphere Commerce システム内でこのアイテムを一意的に識別する SKU を入力します。
6. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した SKU コードを保管しノートブックをクローズするには、「**OK**」をクリックします。



注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。


## SKU 名の変更

SKU 名を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。名前フィールドに、“25 ピース木製自動車セット”などの商品名を入力する。
6. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した SKU 名を保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

注:



- SKU 名は言語別指定です。つまり、商品がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアの商品名を変更したい場合には、各ストアの「名前」フィールドを変更する必要があります。別の言語で作業するには、左上隅にあ

る、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU 取引管理オプションの変更


SKU の取引管理オプションを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。

4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。以下の要領で販売条件を変更します。
  - ・ 顧客に SKU を表示することを指定するには、「顧客に表示」チェック・ボックスを選択する。このチェック・ボックスは、CD のように属性をもっていない SKU にしか適用できないので注意してください。
  - ・ 顧客が SKU をショッピング・カートに入れてオーダーできることを指定するには、「販売用」チェック・ボックスを選択する。SKU がオークション対象である場合、このチェック・ボックスは読み取り専用で消去できません。
6. この SKU に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した販売条件を保管しノートブックをクローズするには、OK をクリックする。

**注:**



- ・ 「顧客に表示」チェック・ボックスの状況は言語別指定です。つまり、SKU がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアの表示状況を変更したい場合には、各ストアの「顧客に表示」チェック・ボックスを変更する必要

があります。別の言語で作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- ・ 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- ・ キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

**SKU の非表示**

ある SKU が一時的に在庫切れになっている場合などに、SKU が顧客に表示されないように非表示にするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。顧客に表示チェック・ボックスのチェックを外す。

- この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。ノートブックを非表示およびクローズするには、**OK** をクリックする。

注:

- 「顧客に表示」チェック・ボックスの状況は言語別指定です。つまり、SKU がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアで SKU を非表示したい場合には、各ストアの「顧客に表示」チェック・ボックスを消去する必要

があります。別の言語で作業するには、左上隅にある、





アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU 説明の変更


SKU 説明を変更するには、以下のようにします。

- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
-  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
- 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
- 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
- 左側のナビゲーション・フレームから、説明をクリックする。「説明」ページが表示されます。
- 以下の要領で SKU 説明を変更する。
  - 簡略説明フィールドには、“婦人用皮製ロング・コート”などの簡単な説明を入力する。
  - 「詳細説明 1」スクロール・ボックスには、“黒の本皮でライナーが取り外しできますので、1 年を通して着られます。また、シックなボタンとベルト、合わせ目が細くなった加工になっており、全体的にクラシックな雰囲気を出しています。”など、SKU の詳細説明を入力する。
  - 「詳細説明 2」スクロール・ボックスには、必要に応じて 2 番目の SKU の詳細説明を入力する。
  - 「詳細説明 3」スクロール・ボックスには、必要に応じて 3 番目の SKU の詳細説明を入力する。

- この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した商品説明を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:**



- SKU 説明は言語別指定です。つまり、SKU がフランスおよび日本のストアでオフラインされ、その両方のストアの説明を変更したい場合には、各ストアの「**簡略説明**」、「**詳細説明 1**」、「**詳細説明 2**」、および「**詳細説明 3**」フィールドを



変更する必要があります。別の言語で作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。


## SKU イメージの変更

SKU イメージ、またはイメージの場所を変更するには、以下のようにします。

- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
-  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
- 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
- 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
- 左側のナビゲーション・フレームから、イメージをクリックする。「イメージ」ページが表示されます。
- 以下の要領で SKU イメージの名前または場所を変更する。
  - SKU のフルサイズ・イメージ (大きいイメージ表示のこと) を変更するには、「フルサイズ・イメージ・ファイルおよび場所」フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater\_med\_full.gifの相対パスは、以下のように指定できます。

```
-  ¥images¥bluesweater_med_full.gif
-    
 /images/bluesweater_med_full.gif.
```

- SKU のサムネール (小さいイメージ表示のこと) を変更するには、「サムネール・イメージ・ファイルおよび場所」フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、bluesweater\_med\_thumb.gifの相対パスは、以下のように指定できます。

-  ¥images¥bluesweater\_med\_thumb.gif

-    

/images/bluesweater\_med\_thumb.gif.

7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更したイメージ名または場所を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

#### 注:



- SKU イメージは言語別指定です。つまり、SKU がフランスおよび日本のストアでオファーされ、その両方のストアのイメージまたはイメージ場所を変更したい場合には、各ストアに対して新規の情報を提供する必要があります。別の言語で

作業するには、左上隅にある、 アイコンをクリックします。

- 別の言語に切り替えることができるのは、WebSphere Commerce がサポートする複数の言語で作業することが許可されていて、その言語が利用可能である場合だけです。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU 属性の変更



SKU 属性を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
3.  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. 左側のナビゲーション・フレームから、属性をクリックする。
6. 各属性のドロップダウン・リストを使用して、新しい値を選択する。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのページを切り替える。変更した属性を保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックする。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の製造業者情報の変更



SKU の製造業者情報を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. 左側のナビゲーション・フレームから、「製造業者」をクリックする。「製造業者」ページが表示されます。
6. 以下の要領で製造業者情報を変更する。
  - 製造業者商品の部品番号を変更する場合は、「**Manufacturer part number (製造業者の部品番号)**」フィールドに、製造業者でその商品の固有識別に使用している部品番号を入力する。
  - 製造業者名を変更する場合は、「**製造業者**」フィールドに、その商品の製造業者名を入力する。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した製造業者情報を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の割引指定の変更

ある商品に割引を追加する、または商品に指定されていた割引を除去するなど、SKU の割引指定を変更するには、以下のようになります。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. 左側のナビゲーション・フレームから、**割引**をクリックする。「割引」ページが表示されます。
6. 以下の要領で割引指定を変更する。
  - SKU に割引を指定するには、「**適用可能な割引**」リストから割引名を選択し、「**追加**」をクリックする。

- SKU に指定されていた割引を除去するには、「**選択済みの割引**」リストから割引名を選択し、「**除去**」をクリックする。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した割引指定を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の税指定の変更



SKU の消費税または配送税指定を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. “電気製品消費税” など、SKU の消費税を変更するには、左側のナビゲーション・フレームから「消費税」をクリックする。「消費税」ページが表示されません。以下のようにします。
  - SKU に消費税を指定する場合は、「**適用可能な税**」リストから税の名前を選択し、「**追加**」をクリックする。
  - SKU に指定された消費税を除去する場合は、「**選択済みの税**」リストから税の名前を選択し、「**除去**」をクリックする。
6. “翌日配送税” など、SKU の消費税を変更するには、左側のナビゲーション・フレームから「配送税」をクリックする。「配送税」ページが表示されます。以下のようにします。
  - SKU に配送税を指定する場合は、「**適用可能な税**」リストから税の名前を選択し、「**追加**」をクリックする。
  - SKU に指定された配送税を除去する場合は、「**選択済みの税**」リストから税の名前を選択し、「**除去**」をクリックする。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した税指定を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の配送カテゴリーの変更



通常、配送カテゴリーは、重量、サイズ、または金額の範囲を基準に定義されます。たとえば、L サイズのオーダー、M サイズのオーダー、S サイズのオーダーという配送カテゴリーを設定するという具合です。異なる配送カテゴリーに対しては、異なる配送料金または税が割り当てられます。SKU の配送カテゴリーを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理するSKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. 左側のナビゲーション・フレームから、**配送カテゴリー**をクリックする。「配送カテゴリー」ページが表示されます。
6. 以下の要領で SKU の配送カテゴリーを変更する。
  - SKU に“出荷重量 15 ポンド超”などの配送カテゴリーを指定するには、「**適用可能なカテゴリー**」・リストからカテゴリー名を選択し、「**追加**」をクリックする。
  - SKU に指定された配送カテゴリーを除去するには、「**選択済みカテゴリー**」・リストからカテゴリー名を選択し、「**除去**」をクリックする。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのSKU ページを切り替える。変更した配送カテゴリーを保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の配送計測単位の変更

SKU の配送の計測単位を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理するSKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。





5. 左側のナビゲーション・フレームから、「Units of Measure (計測単位)」をクリックする。「Units of Measure for Shipping (配送の計測単位)」ページが表示されます。
6. 以下の要領で配送の測定情報を変更する。
  - 「Weight (重量)」フィールドで、変更する SKU の重量を入力する。
  - 「Weight Measure (重量の計測単位)」フィールドで、上記の重量の新しい計測単位を選択する。
  - 「Sold in multiples of this amount (販売単位となる数量)」フィールドで、SKU を販売する際の数量の変更値を入力する。
  - 「Number of items per package (パッケージ当たりのアイテム数)」フィールドで、SKU に含まれるパッケージ当たりのアイテム数の変更値を入力する。
  - 「Unit of Measure (計測単位)」フィールドで、この SKU に使用する計測単位を選択する。
7. この SKU に他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれの SKU ページを切り替える。変更した配送計測単位情報を保管してノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU URL の変更



ソフトウェアをダウンロードできる Web ページなどの、SKU URL を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
3.  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 処理する SKU の横のチェック・ボックスを選択して「SKU」ノートブックをオープンし、「更新」をクリックする。
5. 左側のナビゲーション・フレームから、**拡張**をクリックする。「拡張」ページが表示されます。
6. 「URL」フィールドに、顧客が SKU をダウンロードできる (SKU がソフトウェアの場合)、または商品の詳細情報を入手できる URL を入力する。URL にブランク・スペースを入れないようにしてください。
7. この SKU に対しその他の変更を行うには、左側のリンクを使用して各商品ページを切り替える。変更した URL を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の削除

商品の SKU を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックする。使用可能な SKU のリストが表示されます。
4. 削除したい SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「削除」をクリックする。
5. カタログから SKU が除去されます。

注:



- SKU を削除すると、関連した属性 SKU と属性値もすべて削除されます。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

---

## Working with attributes

### 属性の追加

商品に属性を追加するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 「新規」をクリックする。「新規属性」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
  - 「言語」フィールドは、ストアのデフォルト言語に設定される。
  - 「名前」フィールドに、“カラー”や“サイズ”など、属性の名前を入力する。この名前はストアのデフォルトの言語で入力する必要があります。
  - 「説明」フィールドに、属性の簡単な説明を入力する。
  - 「タイプ」項目で:



- 属性に名前などのテキストが含まれる場合は、「**Text (テキスト)**」チェック・ボックスを選択する。
  - 属性にサイズなどの数値が含まれる場合は、「**Whole Number (整数)**」チェック・ボックスを選択する。
  - 属性に靴のハーフサイズなどの小数点が含まれる場合は、「**Decimal Number (小数点)**」チェック・ボックスを選択する。
5. 属性値を作成する。
  6. 「**OK**」をクリックして、属性を保管する。

**重要:**

- 属性と属性値の作成はまずストアのデフォルト言語で行い、サポートする言語での作成はその後で行ってください。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 属性の変更

名前および説明についての属性情報を変更するには、以下のようになります。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 変更する属性を選択して、「変更」をクリックする。「属性一般情報」ページが表示されます。
5. 以下の情報のいずれか、または両方を変更する。
  - 「言語」ドロップダウン・メニューから言語を選択する。
  - 「名前」フィールドに、属性の名前を入力する。たとえば、“カラー” など。
  - 「説明」フィールドに、属性の簡単な説明を入力する。
6. 「**OK**」 をクリックして、変更内容を保管する。

**重要:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しないと、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示されません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 属性の削除

属性を削除するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。



2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 属性の左側にあるチェック・ボックスを使用して削除する属性を選択し、「削除」をクリックする。
5. 商品から属性が除去される。

**注:**

- 属性を削除すると、関連した属性値および SKU もすべて削除されます。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 属性値の追加

属性に値を追加するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 新規属性を作成するか、または作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して既存の属性を選択し、「変更」をクリックする。
5. 「新規属性」または「属性の変更」ページの下部の、「値の追加 (Add value)」をクリックする。以下の情報を追加します。
  - 「値」フィールドに、属性値の名前に対応する値を入力する。たとえば、属性値の名前が「カラー」の場合は、「黄色」や「赤」などの色の名前を入力します。この属性値名はストアのデフォルトの言語で入力する必要があります。
  - 「イメージ (パス名)」に、属性値イメージへの絶対パスを入力する。このフィールドはオプションです。
6. 「追加」をクリックする。
7. 作成する属性値ごとにステップ 5 および 6 を繰り返す。
8. すると「新規属性」または「属性の変更」ページには、ストアのデフォルトの言語による属性値の「参照値 (Reference Value)」、選択した言語の「値」、「イメージ (パス名)」、および各属性値の「シーケンス」番号を含むテーブルが表示される。「OK」をクリックして、属性値を保管する。



**重要:**

- 属性と属性値の作成はまずストアのデフォルト言語で行い、サポートする言語での作成はその後で行ってください。

- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 属性値の変更



属性の値を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 新規属性を作成するか、または作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択して既存の属性を選択し、「変更」をクリックする。
5. 「新規属性」または「属性の変更」ページの下部の、「値の変更 (Change value)」をクリックする。該当する場合には、以下の情報を変更する。
  - 「値」フィールドに、属性値の名前に対応する値を入力する。たとえば、属性値の名前が「カラー」の場合は、「黄色」や「赤」などの色の名前を入力します。
  - 「イメージ (パス名)」に、属性値イメージへの絶対パスを入力する。
6. 「変更」をクリックする。
7. 変更する属性値ごとにステップ 5 および 6 を繰り返す。
8. 「新規属性」または「属性の変更」ページには、ストアのデフォルトの言語による属性値の「参照値 (Reference Value)」、選択した言語の「値」、「イメージ (パス名)」、および各属性値の「シーケンス」番号を含む更新済みのテーブルが表示される。「OK」をクリックして、属性値を変更する。

**重要:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しないと、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示されません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 属性値の削除

属性の値を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「属性」をクリックする。その商品に対する使用可能な属性が表示されます。
4. 作業を行う属性の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「変更」をクリックする。「属性の変更」ページが表示されます。

5. このページの下部にある、削除したい属性値の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「削除」をクリックする。
6. 属性から属性値が除去される。

注:



- 属性値を削除すると、関連した SKU もすべて削除されます。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

---

## Working with prices

### 商品への価格の追加



商品に価格を追加するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
3.  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。
4. 「商品価格」ページが表示されます。「価格範囲の追加」をクリックします。
5. 以下のようにして、価格範囲を定義する。
  - ドロップダウン・リストを使用して、ストアの使用可能な通貨のリストから通貨を選択する。
  - 「範囲」フィールドに、ボリューム価格設定用の商品価格範囲を追加し、特定の価格の商品の数量を指定する。
6. 「OK」をクリックします。新規価格範囲行の「価格」列の下に、商品の価格を入力します。
7. 新規商品価格を保管するには、「OK」をクリックする。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

### 商品の価格の変更

商品の価格を変更するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。
3.  「商品」メニューから、「商品」をクリックします。ストアの商品リストが表示されます。

3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。
4. 「商品価格」ページが表示されます。変更したい価格の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格範囲の変更」をクリックします。
5. 以下の要領で価格の仕様を変更する。
  - ドロップダウン・リストを使用して、ストアの使用可能な通貨のリストから通貨を選択する。
  - 「範囲」フィールドで商品価格の範囲を変更する。
6. 変更した商品価格を保管するには、「OK」をクリックする。「追加のキャンセル」をクリックして、「商品価格」ページに戻ります。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の価格の削除



商品の価格を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。
4. 「商品価格」ページが表示されます。削除したい価格の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格範囲の削除」をクリックします。
5. 「OK」をクリックして「商品価格」ページに戻る。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 商品の価格要約の表示



商品に付加されている価格の要約を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 作業を行う商品の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格の要約」をクリックする。

4. 「Product Price Summary (商品価格の要約)」ページが表示されます。「Product Summary (商品の要約)」ページには、商品に付加されている価格が、各種の通貨、開始単位、および終了単位ですべて表示されます。
5. 「OK」をクリックして「商品」ページに戻る。

## SKU への価格の追加



価格を SKU に追加するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 作業を行う SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。
5. 「SKU Pricing (SKU 価格)」ページが表示される。「価格範囲の追加」をクリックします。
6. 以下のようにして、価格範囲を定義する。
  - ドロップダウン・リストを使用して、ストアの使用可能な通貨のリストから通貨を選択する。
  - ボリューム価格の SKU 価格範囲を「範囲」フィールドに追加し、特定の価格の SKU の数量を指定する。
7. 「OK」をクリックします。新しい価格範囲の「価格」列の下に、SKU の価格を入力する。
8. 新しい SKU 価格を保管するには、「OK」をクリックする。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の価格の変更

SKU の価格を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 作業を行う SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。





5. 「SKU Pricing (SKU 価格)」ページが表示される。変更したい価格の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格範囲の変更」をクリックします。
6. 以下の要領で価格の仕様を変更する。
  - ドロップダウン・リストを使用して、ストアの使用可能な通貨のリストから通貨を選択する。
  - 「範囲」フィールドで SKU 価格の範囲を変更する。
7. 変更した SKU 価格を保管するには、「OK」をクリックする。「追加のキャンセル」をクリックして、「SKU Pricing (SKU 価格)」ページに戻ります。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の価格の削除



SKU の価格を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 作業を行う SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格」をクリックする。
5. 「SKU Pricing (SKU 価格)」ページが表示される。削除したい価格の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格範囲の削除」をクリックします。
6. 「OK」をクリックして「SKU Pricing (SKU 価格)」ページに戻る。

注: キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## SKU の価格要約の表示

SKU に付加されている価格の要約を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
ストアの商品リストが表示されます。
3. 商品の左のチェック・ボックスを選択し、「SKU」をクリックして、処理する SKU をリストする。
4. 作業を行う SKU の左側にあるチェック・ボックスを選択し、「価格の要約」をクリックする。

5. 「SKU Price Summary (SKU 価格の要約)」ページが表示される。「SKU Summary (SKU の要約)」ページには、SKU に付加されている価格が、各種の通貨、開始単位、および終了単位ですべて表示されます。
6. 「OK」をクリックして「SKU」ページに戻る。

---

## 割引

割引は、顧客が購買を決定するきっかけになる可能性があります。パーセント割引(10%引きなど)または一定額割引(5000円引きなど)を提示できます。割引は、特定の商品または買い物全体のどちらに対しても適用することができます。たとえば、高齢者には20%の割引を行ったり、または赤い野球帽が過剰在庫の場合、限定期間を設けて25%割引で提供したりできます。



割引は、WebSphere Commerce アクセラレーターの「割引」ウィザードを使用して作成します。作成したら、その割引を実動サーバーに展開しなければなりません。ローダー・ユーティリティーを使用して作成された割引、または以前のバージョンからの移行時にインポートされた割引は、機能的には問題ありませんが、WebSphere Commerce アクセラレーターには正しく表示されない場合があります。

割引は、アクティブまたは非アクティブのいずれにも設定できます。割引作成時にはデフォルトでアクティブに設定されますが、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用していつでも非アクティブにすることができます。割引をアクティブから非アクティブに変更する場合、その変更を有効にするには割引を実動サーバーに伝搬する必要があります。たとえば、ある割引商品の在庫レベルが需要の増加に対応できないと判断した場合、その割引を有効期限前に非アクティブにすることができます。

割引を公示するには、WebSphere Commerce アクセラレーターのマーケティング・ツールを使います。そのためには、割引を告知する広告コピーを作成してから、広告のスケジュールをたてるときにe-マーケティング・スポットに掲載する広告コピーを選択します。



### 割引の要約の表示

現在定義されている割引の要約を表示するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3.  「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. 表示したい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「要約」をクリックする。「割引の要約」ページが表示され、選択された割引に関する情報が示されます。
4. 終了した場合には、「OK」をクリックして、直前のページに戻る。

## 新規割引の作成

新規の割引を作成するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。  
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. 「新規」をクリックする。「割引」ウィザードが表示されます。
4. 作成したい割引に適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 終了 をクリックして、割引を保管する。割引は、割引リストに表示され、自動的にアクティブに設定されます。

注:

1. あらかじめ、開発サーバーから実動 WebSphere Commerce サーバーに割引データを伝搬しておかないと、カスタマー・オーダーで割引を使用することはできません。サイト管理者に連絡して援助を受けてください。



## 割引のアクティブ化

割引をアクティブにするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。  
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. アクティブにしたい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「アクティブ化」をクリックする。選択した割引が実動サーバーでアクティブにされます。



## 割引の非アクティブ化

割引を非アクティブにするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。  
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. 非アクティブにしたい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「非アクティブ化」をクリックする。選択した割引が実動サーバーで非アクティブにされます。

## 割引の削除

割引を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。  
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. 削除したい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。割引が割引リストから除去され、データベースで削除用のマークが付けられます。

注:

1. 削除用のマークの付いた割引と同じ名前の割引を作成することはできません。削除用のマークの付いた割引に対応するデータベース・レコードは、データベース・クリーンアップ・ユーティリティが実行されるまで、物理的に除去されません。同じ名前で割引を作成する必要がある場合には、システム管理者に連絡してください。

---

## クーポン販売促進

クーポン販売促進は、顧客が購買を決定するきっかけになる可能性があります。クーポンとは、クーポン販売促進のインスタンスです。クーポンは、特定の商品または買い物全体のどちらに対しても適用することができます。たとえば、赤い野球帽の在庫が多数ある場合、限定期間を設けて 25% 割引で提供したり、ストアで 1 万円以上の商品を購入した全員に対して、野球帽を 300 円値引きしたりすることができます。


クーポン販売促進は、WebSphere Commerce アクセラレーターの「クーポン」ウィザードを使用して作成されます。

クーポン販売促進は、アクティブ、有効納期切れ、または削除済みのいずれかになります。クーポン販売促進は、作成時にはデフォルトでアクティブに設定されますが、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用していつでも削除することができます。クーポン販売促進は、終了日を過ぎると有効納期切れになります。

特記事項: 適用法によってクーポンの使用が禁止されている地域では、クーポンの使用を奨励していないことに注意してください。

## 新規クーポン販売促進の作成

新規のクーポン販売促進を作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

**B2C**

「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。

「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

3. 「新規」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィザードが表示されます。
4. 作成したいクーポン販売促進に適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完成させる。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 「終了」をクリックして、クーポン販売促進を保管する。クーポン販売促進は、「クーポン販売促進」リストに表示され、自動的にアクティブに設定されます。

**注:**

1. あらかじめ、開発サーバーから実動 WebSphere Commerce サーバーにクーポン販売促進データを伝搬しておかないと、カスタマー・オーダーでクーポン販売促進を使用することはできません。サイト管理者に連絡して援助を受けてください。

## クーポン販売促進の配布

クーポン販売促進は、WebSphere Commerce アクセラレーターのキャンペーン・イニシアチブ・バナー広告インフラストラクチャーを使用する顧客に配布されます。

## クーポン販売促進のリストの表示

クーポン販売促進のリストを表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

**B2B**

「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。

「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

**B2C**

「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。

「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

## クーポン販売促進の支援材料の登録

クーポン販売促進の支援材料は、WebSphere Commerce アクセラレーターの広告コピー・インフラストラクチャーを使用してデータベースに登録されます。

## クーポン販売促進の削除

クーポン販売促進を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

**B2B**

「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。

「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

**B2C**

「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。

「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

3. 削除したいクーポン販売促進の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。クーポン販売促進がクーポン販売促進リストから除去され、データベースで削除用のマークが付けられます。

**注:**

1. 削除用のマークの付いたクーポン販売促進と同じ名前のクーポン販売促進を作成することはできません。削除用のマークの付いたクーポン販売促進に対応するデータベース・レコードは、データベース・クリーンアップ・ユーティリティが実行されるまで、物理的に除去されません。同じ名前で作成されたクーポン販売促進を作成する必要がある場合には、システム管理者に連絡してください。

---

## 予定在庫

予定在庫は取引先から受け取り、一般に、購入オーダーと一緒に支払われます。WebSphere Commerce アクセラレーターは予定在庫レコードを使用して予定在庫をトラッキングし、またこれを使用することによって、外部 ID (通常は外部システムからの購入オーダー番号) を記録することができます。これにより簡単に、到着したものと到着していないもの、およびオーダーした在庫を把握していくことができます。予定在庫詳細とは、予定在庫レコードの商品に関する詳細のことです。たとえば、商品を見込んでいる配送センター、予測受け取り日付、予測数量、コメントなどです。

予定在庫レコードに対する在庫をいったん受け取ったら、予定在庫レコードを削除することはできません。また、予定在庫詳細の在庫を 1 つでも受け取ったら、予定在庫詳細を変更または削除することはできません。

配送センターで使用可能な在庫に対してオーダーが発行された場合、オーダー・サブシステムは在庫をそれらのオーダーに割り振ります。在庫をオーダーに割り振ることにより、その在庫はオーダー・システムで使用不可できなくなります。オーダーがキャンセルされる場合、在庫は再び使用可能になります。



使用可能でない在庫に対してオーダーが発行される場合、バック・オーダーを作成できます。バック・オーダーを実施するために使用できる予定在庫がある場合、予定在庫はバック・オーダーに対して割り振られ、顧客には予測配送日付が知らされます。

在庫受け取りが予定在庫受け取りか特別在庫受け取りかに関係なく、商品が受け取られるためにはそれが WebSphere Commerce に存在しなければなりません。

## 予定在庫のリスト



予定在庫をリストするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」 または「操作」メニューから、「予定在庫」をクリックする。
-  「商品」または「物流管理」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
「予定在庫」リストが表示されます。
3. 個々の予定在庫レコードを処理するには、処理する予定在庫レコードの横のチェック・ボックスを選択し、ページにあるボタンのいずれかをクリックする。
4. このリストのすべての予定在庫レコードを選択する場合は、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択する。
5. リスト全体をナビゲートするには、「先頭」、「最終」、「次へ」、または「前へ」をクリックする。



## 予定在庫レコードの作成

予定在庫レコードを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「予定在庫」をクリックする。
-  「商品」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
「予定在庫」リストが表示されます。
3. 「新規」をクリックする。「新規の予定在庫レコード」ウィザードが立ち上がり、最初に「一般」ページが表示されます。
4. フィールドに正しい情報を入力して、次へをクリックし、次のページに進む。必要に応じて、「前へ」をクリックして、直前のページに戻ります。各ページではヘルプを利用できます。
5. 「詳細情報」ページで、「追加」をクリックする。「商品の検索」ダイアログがオープンします。
6. 「名前」または「SKU」もしくはその両方のフィールドに情報の全部または一部を入力して、追加したい商品を検索する。検索をクリックする。「商品の検索」ダイアログが、「名前」参照で BASEITMDSC.SHORTDESCRIPTION を検索し、「SKU」参照で ITEMSPC.PARTNUMBER を検索して、検索基準と一致する在庫を「在庫 - 検索結果」リストに表示します。
7. 予定在庫レコードに追加したい商品の横のチェック・ボックスを選択して、「OK」をクリックします。「予定在庫詳細の追加」ダイアログが開いて、選択された商品がリストされます。
8. フィールドに正しい情報を入力して、「OK」をクリックします。「詳細情報」ページが再び開き、そこには新規の詳細が追加されています。
9. 「追加」をクリックしてさらに商品を追加するか、リストの横のチェック・ボックスを選択してから「変更」をクリックして変更する、または「除去」をクリックして除去します。
10. 商品の追加、変更、および除去を終了して、ウィザードのすべてのページを完了したら、「詳細情報」ページの「終了」をクリックして予定在庫レコードを作成します。

## 予定在庫レコードの変更



予定在庫レコードを表示または変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
「予定在庫」リストが表示されます。
3. 以下のいずれかを実行します。
  - 処理する予定在庫レコードの横のチェック・ボックスを選択し、「変更」をクリックする。
  - 「取引先」列から、予定在庫の取引先の名前をクリックする。  
  
「Change Expected Inventory (予定在庫の変更)」ノートブックが立ち上がり、最初に「一般」ページが表示されます。
4. 必要に応じてフィールドを更新し、左側のリンクを使用して、ページを切り替える。各ページではヘルプを利用できます。
5. 「詳細」ページで、表示または変更したい商品の横のチェック・ボックスを選択して、「変更」をクリックする。「Change Expected Inventory Details (予定在庫詳細の変更)」ダイアログが開きます。
6. 必要に応じてフィールドを表示または更新してから、「OK」をクリックして、変更を保管してノートブックをクローズする。

注: スペースに制約があるため、予定の受け取り日およびコメントは「予定在庫詳細」リストに表示されません。この情報を表示するには、上記のステップを実行し、「予定在庫詳細の変更」ダイアログをオープンしてください。

## 予定在庫レコードのクローズ

1 つ以上の予定在庫をクローズするには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
「予定在庫」リストが表示されます。
3. クローズしたい予定在庫レコードの左側にあるチェック・ボックスを選択して、「クローズ」をクリックする。
4. 予定在庫レコードのクローズを確認することを促すメッセージが表示される。「OK」をクリックして、予定在庫レコードをクローズする。
5. 「予定在庫」リストが最新表示されて、クローズされた予定在庫レコードは除去されています。

**重要:** 予定在庫レコードをクローズすると、それを再オープンすることはできなくなります。予定在庫レコードをクローズする前に、それに関連したすべての在庫を受け取っていることを確認してください。



## 予定在庫レコードの削除

予定在庫レコードを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
「予定在庫」リストが表示されます。
3. 削除する予定在庫レコードの横のチェック・ボックスを選択し、「削除」をクリックする。
4. 予定在庫レコードの削除を確認することを促すメッセージが表示される。「OK」をクリックして、予定在庫レコードを削除する。
5. 「予定在庫」リストが最新表示されて、削除された予定在庫レコードは除去されています。一度に削除できる予定在庫レコードは 1 つだけです。

**重要：**「OK」をクリックすると、予定在庫レコードに削除のためのマークが付きます。予定在庫レコードを完全に削除するには、システム管理者がデータベース・クリーンアップ・ユーティリティを実行しなければなりません。



---

## 取引先

取引先とは、ストアが商品を購入する任意の組織のことです。取引先レコードには、ベンダーからの情報が含まれます。たとえば、名前、アドレス、連絡先情報などです。取引先は、ストアが予定在庫レコードを作成する前に作成されていなければなりません。

### 取引先のリスト



取引先をリストするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「取引先」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「取引先」をクリックする。  
「取引先」リストが表示されます。
3. 個々の取引先を処理するには、処理する取引先の横のチェック・ボックスを選択し、ページにあるボタンのいずれかをクリックする。
4. このリストのすべての取引先を選択する場合は、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択する。
5. リスト全体をナビゲートするには、「先頭」、「最終」、「次へ」、または「前へ」をクリックする。

### 取引先の作成



取引先を作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「取引先」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「取引先」をクリックする。  
「取引先」リストが表示されます。
3. 「新規」をクリックする。「新規の取引先」ウィザードが立ち上がって、最初に「名前」ページと「住所」ページが表示されます。
4. フィールドに正しい情報を入力して、次へをクリックし、次のページに進む。必要に応じて、「前へ」をクリックして、直前のページに戻ります。各ページではヘルプを利用できます。「連絡先情報」ページのすべてのフィールドはオプションです。
5. 必要なすべてのフィールドを完了したら、いずれかのページの「完了」をクリックして、取引先を作成する。

## 取引先の変更



取引先を変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「取引先」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「取引先」をクリックする。  
「取引先」リストが表示されます。
3. 以下のいずれかを実行します。
  - 処理する取引先の横のチェック・ボックスを選択し、「変更」をクリックする。
  - 「名前」列から、取引先の名前をクリックする。

「取引先の変更」ノートブックが立ち上がって、最初に「名前」ページと「住所」ページが表示されます。
1. 必要に応じてフィールドを更新し、左側のリンクを使用して、ページを切り替える。各ページではヘルプを利用できます。
2. **OK** をクリックして、変更を保管してノートブックをクローズする。

## 取引先の削除

取引先を削除するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「取引先」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「取引先」をクリックする。  
「取引先」リストが表示されます。
3. 削除したい取引先の横にあるチェック・ボックスを選択して、「削除」をクリックする。削除を確認するメッセージが表示されます。
4. **OK** をクリックして、取引先を削除する。

**重要：**「OK」をクリックすると、取引先に削除のためのマークが付きます。取引先を完全に削除するには、システム管理者がデータベース・クリーンアップ・ユーティリティを実行しなければなりません。

---

## 運用レポート

在庫、配送、およびストアを効率的に管理する助けとして使用できる 12 の運用レポートがあります。これらのレポートは、以下に挙げるような複数の役割を持つユーザーがアクセスできるように設計されています。

- セラーおよびマーケティング管理者: パフォーマンスおよびセールスの傾向を分析し、販売促進および販売キャンペーンに関する決定や、売上の向上を目標としたビジネスに関するその他の決定を行います。
- バイヤー、商品マネージャー、およびカテゴリー・マネージャー: 在庫、予定在庫レコード、受け取り、および返品理由をトラックし、購入注文の決定をします。
- オペレーション管理者: 配送の管理や受け取りから配送へのオーダーの管理を行います。また、オーダーの確認をし損なったオーダーをトラックします。

以下のレポートが使用可能です。



- 商品別在庫受け取りレポート - 在庫受け取りを確認します。
- 予定在庫レコードによる在庫受け取りのレポート - 予定在庫レコードの受け取りを確認します。
- 在庫状況レポート - 現在の在庫割り振りおよび在庫商品の受け取り状況を確認します。
- オープンしている予定在庫レコードのレポート - 予測受け取りと未解決の予定在庫レコードを確認します。
- オーダー要約レポート - ストアのパフォーマンス確認し、分析します。
- 未処理返品レポート - まだ受け取っていない返品在庫はどれかを判別します。
- 延着バック・オーダー・レポート - 延着のバック・オーダーを判別します。
- 在庫調整レポート - 在庫調整を確認します。
- バック・オーダーの商品レポート - バック・オーダーにある商品とその数を判別します。
- 未処理の返品受け取りレポート - 未処理の返品商品を判別します。
- 部分受け取りの返品レポート - 受け取っていない商品があるために完了していない返品を判別します。
- 配送例外レポート - 送り状の情報のないリリースを判別します。

## 運用レポートの作成および表示



運用レポートは、実行するレポートに応じて、いくつかの方法で作成し表示できます。すべての場合に、WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする必要があります。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。レポートによっては複数の方法でアクセスできるものもありますが、アクセスできないレポートがある場合もありますので注意が必要です。

**重要:**運用レポートは、データベースの内容に基づいた情報を戻します。削除するようマークされたデータはそのレポートに含まれますが、データベース・クリーンアップ・ユーティリティーによってデータベースから削除されたデータは含まれません。



在庫レポートを作成して表示するには、以下のようにします。

1.  「操作」メニューから、「在庫レポート」をクリックする。  
 「物流管理」メニューから、「在庫レポート」をクリックします。「在庫レポート」リストが表示されます。
2. 以下のレポートのいずれかを選択する。レポートごとにヘルプを利用できません。
  - 商品別在庫受取レポート
  - 在庫調整レポート
  - 在庫状況レポート
  - バック・オーダー商品のレポート
  - オープンしている予定在庫レコードのレポート

オーダー管理レポートを作成して表示するには、以下のようにします。

1.  「操作」メニューから、「オーダー管理レポート」をクリックする。  
 「セールス」メニューから、「オーダー管理レポート」をクリックします。「オーダー管理レポート」リストが表示されます。
2. 以下のレポートのいずれかを選択する。レポートごとにヘルプを利用できません。
  - オーダー要約レポート
  - 納期切れバック・オーダーのレポート

返品管理レポートを作成して表示するには、以下のようにします。

1.  「操作」メニューから、「返品」をクリックする。  
 「物流管理」メニューから、「返品」をクリックする。「返品」ページが表示されます。
2. 「レポート」をクリックする。「Return Management Reports (返品管理レポート)」リストが表示されます。
3. 以下のレポートのいずれかを選択する。レポートごとにヘルプを利用できません。
  - 部分受け取りの返品レポート
  - 未処理の返品受け取りレポート
  - 未解決の返品レポート

予定される在庫レポートを作成して表示するには、以下のようにします。

- ▶ **B2C** 「商品取引」 または「操作」メニューから、「予定在庫」をクリックする。  
▶ **B2B** 「商品」または「物流管理」メニューから、「予定在庫」をクリックします。  
「予定在庫」リストが表示されます。
- 「レポート」をクリックする。「Expected Inventory Reports (予定在庫レポート)」リストが表示されます。
- 以下のレポートのいずれかを選択する。レポートごとにヘルプを利用できます。
  - オープンしている予定在庫レコードのレポート
  - 予定在庫レコードによる在庫受取のレポート

商品レポートを作成して表示するには、以下のようになります。

- ▶ **B2C** 「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
▶ **B2B** 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
「商品」リストが表示されます。
- 「レポート」をクリックする。「Product Reports (商品レポート)」リストが表示されます。
- 以下のレポートのいずれかを選択する。レポートごとにヘルプを利用できます。
  - 商品別在庫受取レポート
  - 在庫状況レポート
  - バック・オーダー商品のレポート
  - 未解決の返品レポート

「配送例外レポート」を作成して表示するには、以下のようになります。

- ▶ **B2C** 「操作」メニューから、「ピッキング・バッチ」をクリックする。  
▶ **B2B** 「物流管理」メニューから、「ピッキング・バッチ」をクリックします。  
「ピッキング・バッチ」リストが表示されます。
- 「レポート」をクリックする。「配送例外レポート」ダイアログがオープンされます。このレポートではヘルプを利用できます。

## オーダー要約レポート

このレポートを使って、ストアのパフォーマンスの確認と分析を行います。

オプション: 開始日、終了日

ソート順: 年、月

グループ分け: 年、月、通貨

| レポート列名 | テーブル名      | 列名          |
|--------|------------|-------------|
| 年      | ORDERITEMS | TIMESHIPPED |
| 月      | ORDERITEMS | TIMESHIPPED |

| レポート列名         | テーブル名                                                                                                                                                                             | 列名       |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 商品金額合計         | sum(ORDERITEMS.TOTALPRODUCT)                                                                                                                                                      |          |
| 商品税額合計         | sum(ORDERITEMS.TAXAMOUNT)                                                                                                                                                         |          |
| 配送料合計          | sum(ORDERITEMS.SHIPCHARGE)                                                                                                                                                        |          |
| 配送料金税合計        | sum(ORDERITEMS.TOTALADJUSTMENT)                                                                                                                                                   |          |
| 調整の合計          | sum(ORDERITEMS.TOTALADJUSTMENT)                                                                                                                                                   |          |
| オーダー金額合計       | sum(ORDERITEMS.TOTALPRODUCT +<br>ORDERITEMS.TAXAMOUNT +<br>ORDERITEMS.SHIPCHARGE +<br>ORDERITEMS.SHIPTAXAMOUNT +<br>ORDERITEMS.TOTALADJUSTMENT)                                   |          |
| オーダー数          | count(別個の ORDERS.ORDERS_ID)                                                                                                                                                       |          |
| オーダー当たりの平均セールス | sum(ORDERITEMS.TOTALPRODUCT +<br>ORDERITEMS.TAXAMOUNT +<br>ORDERITEMS.SHIPCHARGE +<br>ORDERITEMS.SHIPTAXAMOUNT +<br>ORDERITEMS.TOTALADJUSTMENT) / count (別個の<br>ORDERS.ORDERS_ID) |          |
| Currency       | ORDERS                                                                                                                                                                            | CURRENCY |

## 納期切れバック・オーダーのレポート

このレポートを使って、納期切れのバック・オーダーの商品があるオーダーを確認します。

**オプション:** 延着の日数、SKU

**ソート順:** 約束した配送日付、オーダー番号

**グループ分け:** 該当しません

| レポート列名   | テーブル名                                                                 | 列名               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|------------------|
| 約束した配送日付 | ORDERITEMS.PROMISEDAVAILABLETIME + ORDERITEMS.SHIPPINGOFFSET          |                  |
| 延着の日数    | (ORDERITEMS.PROMISEDAVAILABLETIME + ORDERITEMS.SHIPPINGOFFSET) - 現在日付 |                  |
| 予想配送日付   | ORDERITEMS.ESTAVAILABLETIME + ORDERITEMS.SHIPPINGOFFSET               |                  |
| オーダー番号   | ORDERS                                                                | ORDERS_ID        |
| SKU      | ITEMSPC                                                               | PARTNUMBER       |
| 説明       | BASEITMDSC                                                            | SHORTDESCRIPTION |
| オーダー数量   | ORDERITEMS                                                            | QUANTITY         |
| 数量の単位    | QTYUNITDSC                                                            | DESCRIPTION      |

**注:** 納期切れの日数は「日」だけで計算され、「時間」は考慮されません。そのため、あるオーダーが午前 0 時 2 分前に処理されて、その予測配送日付の計算結果が午前 0 時 1 分になった場合、そのオーダーはすでに期限を 1 日超過していると見なされます。

## オープンしている予定在庫レコードのレポート

このレポートを使って、予測受け取りと未解決の予定在庫レコードを確認します。

オプション: 開始日、終了日、SKU、配送センター、取引先

ソート順: SKU、予測される日付

グループ分け: 該当しません

| レポート列名   | テーブル名      | 列名               |
|----------|------------|------------------|
| SKU      | ITEMSPC    | PARTNUMBER       |
| 説明       | BASEITMDSC | SHORTDESCRIPTION |
| 外部 ID 番号 | RA         | EXTERNALID       |
| 発行日付     | RA         | ORDERDATE        |
| 予測される日付  | RADETAIL   | EXPECTEDDATE     |
| 配送センター   | FFMCENTDS  | DISPLAYNAME      |
| 取引先      | VENDORDESC | DESCRIPTION      |
| 数量の単位    | QTYUNITDSC | DESCRIPTION      |
| オーダー数量   | RADETAIL   | QTYORDERED       |
| 受取数量     | RADETAIL   | QTYRECEIVED      |
| 残余数量     | RADETAIL   | QTYREMAINING     |

## オークション

WebSphere Commerce は、最高額の入札者に商品を販売するためのオークション・コンポーネントを備えています。このコンポーネントは、e-commerce のソリューションの一環として、小規模から中規模のオークションをインプリメントするための理想的な環境を提供します。 それに加えて、オークションは次のような状況で特に有利です。

- 市場の規模や購入者の商品購入の意志が分からない場合。たとえば、中古または修理品を販売している場合。
- 最初の商品の価格設定が高すぎた場合に、マーケットの需要により価格を決定したい場合。
- 新しい商品ラインを販売促進したり、在庫を整理したりしたい場合。

オークション管理者の買い物候補のフィーチャーには、以下のものがあります。

- オークション・タイプ
- オークション・ルール
- オークション・スタイル
- 入札ルール
- アクセス制御

入札者の買い物候補のフィーチャーには、以下のものがあります。

- 通知メッセージ
- 自動入札
- オークション・ギャラリー

- ディスカッション・フォーラム

注:

オークションを使って初めて作業を開始する前に、オークションを使用可能にする必要があります。

## オークション・ルール

参加する前に入札者が読んでおく必要がある一連のルールによってすべてのオークションは規制されます。オークション・ルールは、オークションの作成時に確立され、以下のような項目から成ります。

- オークション・タイプ
- 商品名
- 使用可能な数量
- オークションに最低販売価格が存在するかどうか
- 落札者がオークションされたアイテムの受け入れを拒否した場合に没収されるデポジット金額
- オークションの開始日時
- 予定終了日時などの、オークションが終了する条件
- 最低の入札価格、数量、および入札の単位を記述した入札ルール
- オークションの価格設定メカニズム

オークション中にオークション・ルールが変わった場合、入札者は入札を送信または更新する前に、ルールを読み直す必要があります。ルールの変更前に送信された入札は、影響されず、落札する可能性もあります。

### オークションのスケジューリング

オークションは、指定した日時に自動的に開始されます。終了日時は、以下のいずれかの方法で、設定することができます。

- 固定日時
- 最後の入札が受信されてから指定した時間が経過した時刻
- 最初の 2 つの条件のどちらか一方または両方が成立した時刻

オークションが終了すると、WebSphere Commerce はオーダー処理を完了し、オークション通知メッセージを落札者に送信します。オークションを初めて実行する前に、オークションを使用可能にする必要があります。

### 価格設定メカニズム

WebSphere Commerce は、オークションに対して個別価格設定と一律価格設定の 2 つの価格設定メカニズムをサポートします。

1 つのオークションで複数の商品が出品されると、そのオークションでは、落札値のそれぞれ異なる複数の落札者が出る可能性があります。一律価格設定の場合、全落札者は最低落札者が支払った値を支払う必要があります。個別価格設定の場合、オークションの落札者はそれぞれ各自の入札金額を支払う必要があります。



価格設定メカニズムは、オークションで複数のアイテムが販売される場合、またはオークションの数量が最小入札数量に等しくない場合に有効であることに注意してください。

どのオープン・クライ・オークションまたはシールド・ビッド・オークションにも、個別価格設定または一律価格設定のどちらかの価格設定メカニズムを関連付けなければなりません。

## オークション・タイプ

WebSphere Commerce は、以下の 3 つのタイプのオークションをサポートします。

- オープン・クライ・オークション
- シールド・ビッド・オークション
- ダッチ・オークション

### オープン・クライ・オークション

オープン・クライ・オークションでは、一般の人がすべての入札を見ることができます。各参加者には、他に送信された入札が分かります。

### シールド・ビッド・オークション



シールド・ビッド・オークションでは、オークション管理者だけが見られる入札を参加者から送信することができます。送信の期限を設定し、その時刻以降に受信された入札は受け入れられません。入札者には、他に送信された入札は分かりません。

### ダッチ・オークション

ダッチ・オークションでは、入札者が最初の入札価格を設定する必要がありません。その代わりに、オークションを作成するユーザーは価格を告示し、参加者に、それを受け入れるかどうか尋ねます。通常、オークションは高額の入札価格で始まり、入札者によって在庫が一掃されるまで、その価格が減額されます。

## オークションの表示

オークションのリストを表示するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。  
 「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。このリストから、以下を行うことができます。
  - 「オークション」ウィザードを使用したオークションの作成
  - オークション要約の表示
  - オークションの撤回
  - ディスカッションの管理
  - 入札の管理
  - オークションのクローズ
  - 既存のオークションの変更

- オークションの検索

## オークションの作成

オークションは、「オークション」ウィザードを使用するか、既存のオークション・スタイルを使用するか、あるいは新規オークション・スタイルを作成するかのいずれかによって作成できます。



以下に、オークションを作成する際に考慮すべきいくつかの一般ヒントを示します。

- ダッチ・オークションの場合、「オークション」ウィザードを使用してオークションを作成します。複数のオークションに同じテンプレートを使用するのであれば、まずオークション・スタイルの作成を考慮に入れてください。
- 「オープン・クライ」または「シールド・ビッド」オークションを作成する場合、その作成時に入札ルールを指定することが考えられます。このような場合は、オークションを作成する前に入札ルールを作成する必要があります。
- 通常、同じスタイルを複数のオークションに使用することを予定している場合は、先にオークション・スタイルを作成してから、作成したそのオークション・スタイルを使用して「オークション」ウィザードでオークションを作成します。

**注:** 初めてオークションを使って作業を開始する場合、オークションを使用可能にする必要があります。

### 「オークション」ウィザードを使用したオークションの作成



「オークション」ウィザードを使用してオークションを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。  
 「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。「新規」をクリックして、「オークション」ウィザードを開始します。
4. オークションを作成するには、各ページの必要事項を指定し、終了するまで「次へ」をクリックします。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。完了時に「終了」をクリックすると、オークションが作成され、オークション ID 付きの確認通知メッセージが表示されます。

## オークションの検索

SKU、オークション ID、またはオークション・タイプによってオークションを検索するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「オークションの検索」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「オークションの検索」をクリックします。
3. 検索ページが表示されます。SKU またはオークション ID を指定するか、オークション・タイプを選択して、「OK」をクリックします。「オークション」ページは、指定した基準に一致するオークションのリストを表示します。



## オークションの管理

オークションの管理としては、以下のことが実行できます。

- 既存のオークションの変更
- 入札の管理
  - 参加者の入札の撤回
- ディスカッションの管理
- オークションの撤回
- オークション入札のクローズ
- オークションの通知メッセージを使用可能にする
- オークション・メッセージの遅延時間の変更
- オークション・スケジューラー・ジョブの間隔の変更
- 状況 WF の入札の処理
- データベース・クリーンアップ・ユーティリティを使用したオークション・データベースのクリーンアップ

### 既存のオークションの変更



既存のオークションは、次の手順で変更します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。  
 「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。オークションを選択し、「変更」をクリックします。「オークション」ノートブックが開始します。ここで実行できる変更は、(「オークション」ページに示される) オークション状態によって異なるので注意してください。たとえば、「先物」状態にあるオークションについてはすべてのフィールドを変更できますが、「現物」状態にあるオークションについては、ある特定のフィールドしか変更できません。  
「現物」オークションの場合、以下の変更だけを行えます。
  - 終了日または時刻を延期する
  - 数量を増やす
  - ダッチ・オークションのオファーされた価格「先物」オークションの場合、すべてのパラメーターを変更できます。

4. オークションを変更するには、各ページに必要な事項を指定し、作業が終了するまでナビゲーション・パネル上の**次へ**をクリックする。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。作業の終了時に **OK** をクリックすると、メッセージが表示されます。



## オークションの撤回

オークションを撤回するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。
3.  「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。オークションを選択し、「撤回」をクリックしてオークションをキャンセルします。オークションが撤回されると、すべての入札が撤回されます。ページが最新表示され、選択したオークションについて「撤回済み」状況が表示されます。



## 入札の管理

入札の管理として、以下のことが実行できます。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。
3.  「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。「入札」をクリックします。
4. 「入札」ページが表示されます。ここから入札（複数可）を選択し、「撤回」をクリックします。リストが最新表示されます。「入札」ページから、任意の入札を撤回することができます。

## 参加者の入札の撤回



参加者の入札を撤回するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「操作」メニューから、「オークション」をクリックします。
3.  「セールス」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。「入札」をクリックします。
4. 「入札」ページが表示されます。撤回したい入札（複数可）を選択し、「撤回」をクリックします。リストが最新表示されます。

## オークションの入札のクローズ

オークションの入札をクローズするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「クローズ」をクリックして、オークションの入札をクローズします。ページが最新表示され、選択したオークションについて「入札クローズ済み」状況が表示されます。これで、以降の入札を送信することはできません。

## オークション・スタイル



オークション・スタイルを使用すれば、オークション作成時に時間を節約することができます。オークション・スタイルは、自動的にフィールドを埋めてくれるテンプレートです。たとえば、オープン・クライ・オークションをスケジュールして、常に一律価格設定の価格設定を使用するとします。この場合に、オークション・タイプ、および価格設定メカニズムに該当するフィールドはオークション・スタイルによって埋められ、オークションごとにこれらのフィールドを選択する必要がなくなります。

商品表示テンプレートやオークション・ルール・テンプレートなど、オークションによってその仕様がかわらない場合、その値を含むオークション・スタイルを作成することができます。

新しいオークション・スタイルは、「オークション・スタイル」ウィザードを使えば簡単に作成することができます。このウィザードを使用して、オークションの作成処理中に表示するフィールドに値を移植することができます。

### オークション・スタイルの作成



インスタンスは、以下の手順で作成します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション・スタイル」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「オークション・スタイル」をクリックします。
3. 「新規」をクリックする。「オークション・スタイル」ウィザードが開始します。
4. スタイルを作成するには、各ページの必要事項を指定し、終了するまで「次へ」をクリックします。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。「終了」をクリックすると、メッセージが表示されます。

### オークション・スタイルの変更



既存のオークション・スタイルは、次の手順で変更します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「List Auctions Styles (オークション・スタイルのリスト)」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「List Auction Styles (オークション・スタイルのリスト)」をクリックします。
3. 「オークション・スタイル」ページが表示されます。スタイルを選択し、「変更」をクリックします。
4. 「オークション・スタイル」の最初のページが表示されます。各ページに必要な事項を指定し、作業が終了するまで次へをクリックする。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。作業の終了時に完了をクリックすると、メッセージが表示されます。

### オークション・スタイルの削除

既存のオークション・スタイルを削除するには、以下のように「オークション・スタイル」ノートブックを使用します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション・スタイル」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「オークション・スタイル」をクリックします。
3. 「オークション・スタイル」ページが表示されます。スタイルを選択し、「削除」をクリックします。メッセージが表示され、ページが最新表示されます。

## 入札ルール



入札ルールは、オープン・クライ・オークションおよびシールド・ビッド・オークションで、どのように入札を進めることができるかを定めるものです。以下のものが、入札ルールに含まれます。

- 参照番号
- 名前
- 説明
- 関連付けられたオークション・タイプ
- 最小入札値
- 最小入札数量
- オープン・クライ・オークションの場合、指定された価格範囲内での最小入札単位

### 入札のルールの作成



入札のルールは、次の手順で作成します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「入札のルール」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「入札のルール」をクリックします。
3. 入札ルール・ページが表示される。「新規」をクリックする。「入札ルール」ウィザードが開始します。
4. 入札ルールを作成するには、各ページに必要な事項を指定し、作業が終了するまで次へをクリックする。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。作業が終了したら、「完了」をクリックしてください。



## 入札のルールの変更

既存の入札のルールは、次の手順で変更します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「入札のルール」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「入札のルール」を選択します。
3. 「入札ルール」ページが表示されます。入札ルールを選択し、「変更」をクリックします。
4. 「入札ルール」ノートブックの最初のページが表示されます。各ページに必要な事項を指定し、作業が終了するまで次へをクリックする。各ページごとにオンライン・ヘルプが使用できます。作業の終了時に完了をクリックすると、メッセージが表示されます。

## 入札のルールの削除

既存の入札のルールは、次の手順で削除します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「入札のルール」をクリックします。
-  「商品」メニューから、「入札のルール」をクリックします。
3. 「入札ルール」ページが表示されます。入札ルールを選択し、「削除」をクリックします。メッセージが表示され、ページが最新表示されます。

## オークション通知メッセージ

以下のオークション通知メッセージが作成されます。

**オークションが開始されました。**

ギャラリーでこのオークションに参加した顧客に、オークションが開始されたことを知らせます。

**お客様の入札は変更されました。**

より高額の入札が発行されたことを顧客に知らせます。

**お客様が落札者となりました。**

顧客の発行した入札で落札されたことを知らせます。

落札した商品に対するオーダーが作成されました。

オークションで落札した商品（複数商品の場合あり）に対するオーダー処理が開始されたことを顧客に知らせます。

オークションが終了すると、勝者はその結果を通知するメッセージを自動的に受け取ります。各メッセージは MESSAGE および MSGMEMREL テーブル中の 1 行と対応しています。宛先がこのメッセージを一定時間以内に読まない、未読メッセージと同じ内容の E メールが送信されます。DoAuctionNotify コマンドでこの E メールを送信する責任があります。オークション・メッセージの遅延時間を変更することもできます。

システムでオークションの通知メッセージと E メールを送信できるようにするには、事前にオークションの通知メッセージを使用可能にする必要があります。

## オークション・ギャラリー

オークション・ギャラリーは、顧客の関心の対象となるオークションを表示します。これには、顧客が入札の処理をしたオークションとともに、顧客によって追加されたオークションも含まれます。通常、顧客の Web ページにある「オークション・ギャラリー」ページでは、顧客のギャラリーにあるすべてのオークションをリストしたり、オークションを除去したりすることができます。



## ディスカッション・フォーラム

ディスカッション・フォーラムは、顧客からのメッセージを表示したり、それに応答したりするのに役立ちます。フォーラムを使用して、以下のような情報を提供できます。

- 商品詳細情報
- オークション・ルールの詳細情報
- 今後のオークションに関する告示

## ディスカッションの管理

ディスカッションを管理するには、以下のように「ディスカッション・フォーラム」を使用します。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンします。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「オークション」をクリックします。
3.  「商品」メニューから、「オークション」をクリックします。
3. 「オークション」ページが表示されます。オークションに関するディスカッションを管理するため、オークションを選択し、「ディスカッション」をクリックします。
4. 「オークション・ディスカッション」ページが表示されます。このページから、以下を行うことができます。
  - 新規メッセージの作成
  - メッセージへの応答



- 顧客のメッセージの状態を「私用」から「公用」に変更
- メッセージの表示
- メッセージの削除

---

## 自動入札

自動入札 (自動的な入札) は顧客の代わりにオープン・クライ・オークションの入札を送信します。顧客は、各自動入札についての以下の情報を提供します。

- 初期入札価格
- 最大入札限度
- 希望数量
- 部分数量受け入れの希望

自動入札は、最大入札限度に達するまで、落札状況を保守するために定期的に入札を更新する、サーバー側のエージェントです。



---

## 第 3 章 Category Manager and Product Manager

---

### マスター・カタログ

マスター・カタログは、ストアの商品取引を管理する中心です。ストアに必要なものはすべて、マスター・カタログに含まれます。これは、すべての商品、アイテム、関係、およびストアで販売されるものすべての標準価格を含む 1 つのカタログです。マスター・カタログのダイアグラムを表示するには、この例を参照してください。

WebSphere Commerce システムの全ストアに、マスター・カタログがなければなりません。マスター・カタログは複数のストアで共有することができ、また必要な数のストアを定義できます。

カタログ管理用のマスター・カタログを作成することに加えて、表示の目的で 1 つ以上のナビゲーション・カタログを作成することもできます。ナビゲーション・カタログにはマスター・カタログと同じエントリーを含めることができますが、カスタマーに表示する目的で、ナビゲーション・カタログはマスター・カタログよりずっと柔軟な構造になっています。必要に応じていくつでもナビゲーション・カタログを作成することができます。しかし、オンラインの商品取引を管理するためにマスター・カタログを使用するので、マスター・カタログをナビゲーション・カタログとして使用して、メンテナンスのオーバーヘッドを最小限に抑えるようお勧めします。

商品管理ツールを使用して、マスター・カタログを表示および管理することができます。また、Catalog Manager Web エディターを使用することもできます。これを使用すると、カタログ・データの作成、削除、または変更が可能になります。

以下は、マスター・カタログに関する重要な構造上の制約事項です。

- マスター・カタログは、適切なツリーであるべきです。つまり、サイクルであってはなりません。これは、以下のタイプのシナリオを避けなければならないことを暗に示します。親カテゴリ **A** にサブカテゴリ **B** があるとします。 **B** および **B** のサブカテゴリはどれも、 **A** の親カテゴリにならないようにすることが重要です。
- 1 つの商品が複数のカテゴリに属することはできません。複数のカテゴリに 1 つの商品を置くには、ナビゲーション・カタログを使用します。
- 商品管理ツールは、マスター・カタログでしか機能しません。

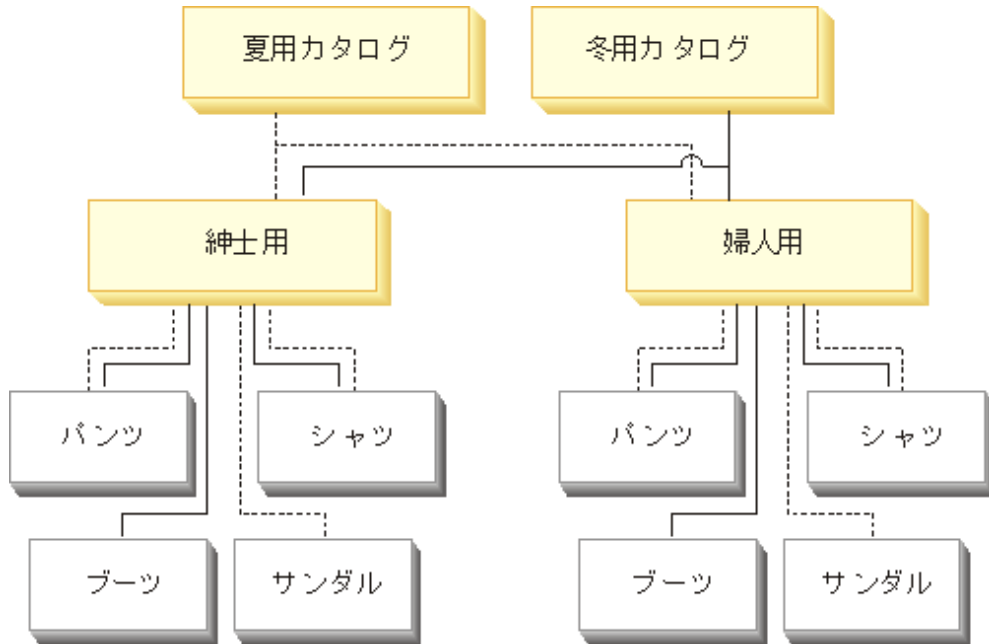
---

### カタログ・ナビゲーション

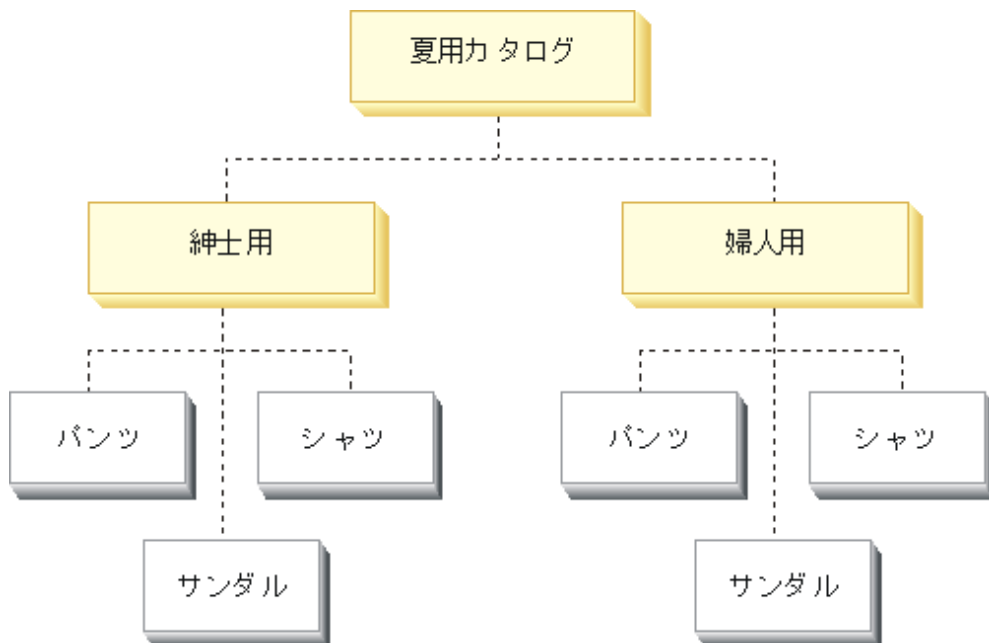
カタログは、カタログ・エントリーおよびカタログ・グループを、顧客にとって意味のある仕方では区分します。オンライン・カタログが区分化にどのように使用されるかを説明しますので、以下の小売店の例をご覧ください。

多くの小売店は、1 年という期間にしたがって商品取引を回転させています。カタログによって、基本的な商品分野の季節的なビューを作成することができます。カ

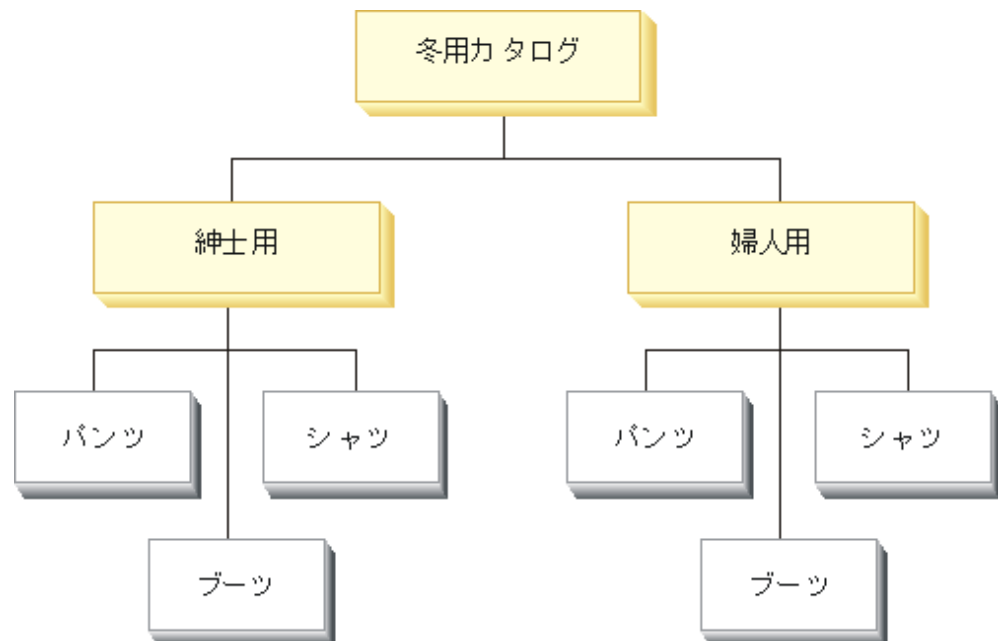
カタログでは、カタログ・グループ全体または一部の組み込み、または 2 つのカタログ・グループの組み合わせが可能です。小売店の例でいうと、「男性用」というカタログ・グループと「女性用」というカタログ・グループが、夏と冬、両方のカタログ・オブジェクトに表示されます。夏のカタログ・オブジェクトの一部として「男性用」および「女性用」カタログ・グループにはサンダルなどの夏物衣料が含まれ、冬のカタログ・オブジェクトの一部として「男性用」および「女性用」カタログ・グループにはブーツなどの冬物衣料が含まれます。どちらのカタログ・グループも、一定のカタログ・エントリーを共有し、シャツやパンツなど季節に関係ない同一の衣料品を含みます。



しかし、夏の間は、夏のカタログに表示されているカタログ・グループとカタログ・エントリーのみアクセス可能です。



同様に、冬の間は、関連したカタログ・グループとカタログ・エントリーを持つ冬のカタログだけが顧客に対して表示されます。



スキーマでは、WebSphere Commerce システム内の各ストア・オブジェクトは、少なくとも 1 つのカタログ・オブジェクトに関連付けられています。カタログは多くのストアで共用することができ、各カタログは 1 つまたは複数のカタログ・グループに関連付けられています。これはカタログ・ナビゲーション・ツリーのルート・カテゴリーを表します。1 つのカタログ・グループには、1 つまたは複数のカタログ・エントリーが属する可能性があります。

## カタログ・エントリー

カタログ・エントリーとは、オンライン・カタログでオーダー可能な商品のことで、これには通常、部品番号、説明、1 つ以上のオファー価格、イメージ、およびその他詳細情報があります。カタログ・エントリーは、商品、アイテム、パッケージ、バンドル、またはダイナミック・キットのいずれかになります。

カタログ・エントリーには、それらがオーダーに追加される前に追加処理が必要なものもあります。たとえば、SKU (在庫管理単位) 分解によってある商品をアイテムに分けることがあります。この分解を実行するには `ResolveSku` コマンドを使用します。



カタログ・エントリーは 1 つのアイテムになることもあれば (不可分)、別のいくつものカタログ・エントリーで構成されることもあります (複合)。不可分の場合、カタログ・エントリーは個別にオーダーすることができ、SKU 分解を行う必要はありません。複合の場合、これは分解前の商品、パッケージ、またはバンドルを表し、追加情報を指定するなどして不可分なエンティティにすることができます。

必要な場合、既存の商品、アイテム、パッケージ、バンドル、またはダイナミック・キット・モデルのいずれにも一致しない `CatalogEntries` オブジェクトに対しては、新しい `CatalogEntry` タイプを作成できます。

## Working with categories



### カテゴリーの検索

カテゴリーを検索するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリーの検索」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリーの検索」をクリックします。検索ダイアログがオープンされます。
3. 以下のいずれかのカテゴリー情報を指定する (注: %, ¥, “, \_、および # といった文字を含めないようにしてください)。
  - 「名前」フィールドには、カテゴリー名を入力し、フィールドの横にあるドロップダウン・リストから、以下のように検索方法を選択する。
    - カテゴリー名がわかっている場合は、「完全一致検索」を選択し、指定したカテゴリー名に完全に一致するカテゴリーを検索する。完全一致検索が行われます。
    - カテゴリーの名の一部しかわかっていない場合は、「以下を含む一致」を選択し、指定した検索基準の語を含む名前のカテゴリーを検索する。システムはファジー検索を実行します。
  - 「説明」フィールドには、カテゴリーに関連した説明を入力し、フィールドの横にあるドロップダウン・リストから、以下のように検索方法を選択する。
    - カテゴリーの説明がわかっている場合は、「完全一致検索」を選択し、指定したカテゴリーの説明に完全に一致するカテゴリーを検索する。完全一致検索が行われます。
    - カテゴリーの説明の一部しかわかっていない場合は、「以下を含む一致」を選択し、指定した検索基準の語を含む説明のカテゴリーを検索する。システムはファジー検索を実行します。
4. 「検索」をクリックする。検索基準に一致するカテゴリーのリストが表示されません。













### カテゴリーのリスト

カタログ中のカテゴリーを表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリー」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリー」をクリックします。カタログのカテゴリー・ツリーが表示されます。
3. 個々のカテゴリーまたはサブカテゴリーを処理するには、該当する名前を強調表示し、ページのいずれかのボタンをクリックする。

## カテゴリの追加

カタログにカテゴリを追加するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリ」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリ」をクリックします。  
カタログのカテゴリ・ツリーが表示されます。
3. 「追加」をクリックする。「一般」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
  - 「名前」フィールドに、“夏服”など、カテゴリの名前を入力します。
  - 「説明」フィールドに、カテゴリの簡単な説明を入力する。
  - 「契約で使用されます」チェック・ボックスを選択して、カテゴリを契約で使用できるようにする。
4. 「次へ」をクリックする。「親」ページが表示されます。カタログのカテゴリ・ツリーからカテゴリを選択して、親カテゴリを選択します。親カテゴリが必要ない場合は、代わりにカタログを選択します。
5. 「次へ」をクリックする。「イメージ」ページが表示されます。以下の情報を追加します。
  - 「サムネイル・イメージ・ファイルおよびロケーション」フィールドに、イメージ名を含めた、イメージへの絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、summerfashion\_thumb.gifの相対パスは、以下のように指定できます。  
-  ¥images¥summerfashion\_thumb.gif  
-      
/images/summerfashion\_thumb.gif.
  - 「フルサイズのイメージ・ファイルおよびロケーション」フィールドに、イメージ名を含めた、イメージへの絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、summerfashion\_full.gifの相対パスは、以下のように指定できます。  
-  ¥images¥summerfashion\_full.gif  
-      
/images/summerfashion\_full.gif.
6. 「OK」をクリックして、カテゴリを保管する。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## カテゴリの変更

カテゴリ (名前、説明、イメージ、および親カテゴリを含む) を変更するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリー」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリー」をクリックします。  
このカテゴリーのカテゴリー・リストが表示されます。
3. カテゴリー・ツリーから処理したいカテゴリーを強調表示し、「更新」をクリックして、「Change Category (カテゴリーの変更)」ノートブックをオープンする。
4. 必要に応じてフィールドを更新し、左側のリンクを使用して、各カテゴリー・ページを切り替える。各ページではヘルプを利用できます。
5. **OK** をクリックして、変更を保管してノートブックをクローズする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## カテゴリー名の変更



カテゴリー名を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリー」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリー」をクリックします。  
このカテゴリーのカテゴリー・リストが表示されます。
3. カテゴリー・ツリーから処理したいカテゴリーを強調表示し、「更新」をクリックして、「Change Category (カテゴリーの変更)」ノートブックをオープンする。
4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。「名前」フィールドに、“夏服”など、カテゴリーの名前を入力します。
5. このカテゴリーに他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのカテゴリー・ページを切り替える。変更したカテゴリー名を保管しノートブックをクローズするには、「**OK**」をクリックします。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## カテゴリー説明の変更

カテゴリー説明を変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
このカテゴリーのカテゴリー・リストが表示されます。
3. カテゴリー・ツリーから処理したいカテゴリーを強調表示し、「更新」をクリックして、「Change Category (カテゴリーの変更)」ノートブックをオープンする。





4. ノートブックをオープンすると、「一般」ページが表示されます。「説明」フィールドに、カテゴリの説明を入力します。たとえば、「夏服。全年齢向けの衣服のコレクション。紳士服、婦人服、または子供服の選択項目からファッションをブラウズする。」などと入力します。
5. このカテゴリに他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのカテゴリ・ページを切り替える。変更したカテゴリ説明を保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## 親カテゴリの変更



親カテゴリ、または親カテゴリの場所を変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリ」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリ」をクリックします。  
このカテゴリのカテゴリ・リストが表示されます。
3. カテゴリ・ツリーから処理したいカテゴリを強調表示し、「更新」をクリックして、「Change Category (カテゴリの変更)」ノートブックをオープンする。
4. 左側のナビゲーション・フレームから、「親」をクリックする。「親」ページが表示されます。
5. カatalogのカテゴリ・ツリーを拡張および縮小表示して、親カテゴリを選択する。強調表示したカテゴリが親カテゴリになります。
6. このカテゴリに他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのカテゴリ・ページを切り替える。変更したカテゴリ名を保管しノートブックをクローズするには、「OK」をクリックします。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。


## カテゴリ・イメージの変更

カテゴリ・イメージ、またはイメージの場所を変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「商品」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「商品」をクリックします。  
このカテゴリのカテゴリ・リストが表示されます。
3. カテゴリ・ツリーから処理したいカテゴリを強調表示し、「更新」をクリックして、「Change Category (カテゴリの変更)」ノートブックをオープンする。


4. 左側のナビゲーション・フレームから、**イメージ**をクリックする。「イメージ」ページが表示されます。
5. 以下の要領でカテゴリ・イメージの名前または場所を変更する。

- カテゴリのフルサイズ・イメージ (大きいイメージ表示のこと) を変更するには、「フルサイズ・イメージ・ファイルおよび場所」フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、summerfashion\_full.gifの相対パスは、以下のように指定できます。

–  ¥images¥summerfashion\_full.gif

–      
/images/summerfashion\_full.gif.

- カテゴリのサムネイル (小さいイメージ表示のこと) を変更するには、「サムネイル・イメージ・ファイルおよび場所」フィールドに、そのイメージの、イメージ名を含む絶対パスまたは相対パスを入力する。たとえば、summerfashion\_thumb.gifの相対パスは、以下のように指定できます。

–  ¥images¥summerfashion\_thumb.gif



–      
/images/summerfashion\_thumb.gif.

6. このカテゴリに他の変更を加えるには、左側のリンクを使用して、それぞれのカテゴリ・ページを切り替える。変更したイメージ名または場所を保管しノートブックをクローズするには、**OK** をクリックする。

**注:** キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## カテゴリの削除

カテゴリを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品取引」メニューから、「カテゴリ」をクリックする。  
 「商品」メニューから、「カテゴリ」をクリックします。  
このカテゴリのカテゴリ・リストが表示されます。
3. 削除したいカテゴリを強調表示し、「削除」をクリックする。
4. カタログからカテゴリが除去されます。

**注:**

- カテゴリを削除すると、関連した商品と SKU、およびサブカテゴリもすべて削除されます。
- キャッシュを使用不可にするか、または現在キャッシュされている JSP ページを除去しない限りは、カタログ・データへのどのような変更もストアに表示できません。詳細については、CacheDelete コマンドを参照してください。

## レポート

WebSphere Commerce には 2 つのレポート・ソースがあります。すべてのレポートは、WebSphere Commerce アクセラレーターを通じて使用できます。これらのレポートは、多様なソースに関する情報を提供しますが、以下のカテゴリーに分けることができます。

### ビジネス・レポート

#### Business

#### アカウント管理および契約管理

このレポートは、アカウントと契約の観点から見たオーダーに関する情報を示します。なおこのレポートは、操作可能データベースからリアルタイムで生成されます。

#### マーケティング

これらの統計レポートには、キャンペーン・イベントと顧客の商品アドバイザー使用について収集された情報が含まれます。詳しくは、販売促進イベント・モニターのオンライン・ヘルプを参照してください。

#### セールス

このレポートには、地理、時刻、および日付に応じたセールス情報が含まれています。

上記レポートの多くは、WebSphere Commerce アナライザーによって生成されます。

### 運用レポート

このレポートは、在庫管理、オーダー管理、返品管理、および配送をサポートする情報を示します。なおこのレポートは、操作可能データベースからリアルタイムで生成されます。

このレポートはサイトに関して広範囲な情報を示します。リモート・マシンのデータマートへ引き出され、詳細にわたる情報を作成するために分析された情報がこのレポートに示されます。このレポートは WebSphere Commerce Analyzer をインストールして構成済みの場合のみ使用可能です。詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide* を参照してください。

## 販売促進イベント・モニター

販売促進イベント・モニターは、販売促進キャンペーンで生成される統計情報を収集するものです。この統計情報を使って、様々なキャンペーンや個々のイニシアチブの相対的な成功度を推定することができます。また、これを収集して、商品アドバイザーのショッピング・メタフォアの効果を示すこともできます。現在の統計情報の概要は、WebSphere Commerce アクセラレーターを通じて表示できます。生成される統計は、オプションの追加製品 WebSphere Commerce Analyzer を使用して、さらなるビジネス・インテリジェンスの基盤として機能します。

販売促進イベント・モニターは統計を収集するのに、WebSphere Commerce データベースにある単純なカウンターを使用します。このカウンターは、トリガー・イベントが発生するたびに増えます。統計は、以下のイベントごとに集計されます。

- キャンペーン・イベント。効果やクリックによる閲覧を含みます。効果は、特定のキャンペーン・イニシアチブが顧客に表示されるたびに、発生します。各イニシアチブでは、広告またはお勧め商品提示商法のコンテンツが表示されます。クリックによる閲覧は、顧客がトピックに関する詳細を知るために表示コンテンツをクリックするたびに発生します。クリックによる閲覧を記録するには、Page Designer で ClickInfo コマンドをその動的コンテンツに関連付ける必要があります。販売促進イベント・モニターは表示されるキャンペーン・イニシアチブと e-マーケティング・スポットを記録します。これは、ターゲットとする広告をよりよくしたり、ある特定の広告が表示されていることを確認したりする場合に役立ちます。
- 顧客による商品アドバイザーの使用。3つのショッピング・メタフォーごとに統計が保持され、効果の比較を示すことができます。

販売促進イベント・モニターは、サイトの利用中に生成されたキャンペーン・イベントの詳細ログのコンパイルも行います。キャンペーン・イベントが発生するたびに、要求されたページ、表示される e-Marketing スポット、およびコンテンツを生成する場合に使用されるイニシアチブによって、ログが更新されます。このログは WebSphere Commerce データベースの CPGNLOG テーブルに保存され、WebSphere Commerce Analyzer で処理されます。また、WebSphere Commerce Analyzer では収集したデータを基にレポートを生成します。

販売促進イベント・モニターはまた、顧客が属する顧客プロフィールとオーダーを結び付ける関係の追跡記録もとることができます。顧客がオーダーを発行するたびに、orders\_id と mbrgrp\_id を使ってログが更新されます。このログは、WebSphere Commerce データベース内の ORDERMGP テーブルに取り込まれます。

## 統計カウンターの表示ソースの構成

統計データが表示される位置を構成するには、以下のようになります。


1. 構成マネージャーを立ち上げる。
2. ユーザーのマシン名をもつノードを拡張表示し、「インスタンス」を拡張表示して、変更したいインスタンスを選択する。
3. 「Commerce アクセラレーター」リストを選択し、キャンペーン統計の供給元としたいマシンのホスト名を「統計ソース」フィールドに入力する。デフォルトでは、これは WebSphere Commerce アクセラレーターが配置されているマシンです。実動サーバーのホスト名を入力するか、インターネットかユーザーのイントラネットのどちらを通じても実動サーバーにアクセスできない場合は、開発サーバーのホスト名を入力することができます。開発サーバーのホスト名を入力した場合には、統計を表示する前に、実動サーバーから指定した開発サーバーへ統計をエクスポートする必要があります。さらに、統計の供給元とするマシンが、初めにログインしたマシンとは異なる場合は、ホスト名にポート番号を追加する必要があります。

このホスト名は、キャンペーン・リストの「統計」をユーザーがクリックした時に使用されます。

## WebSphere Commerce Analyzer レポート

WebSphere Commerce Analyzer は WebSphere Commerce に付属しているオプションのアプリケーションです。このアプリケーションをインストールすると、顧客のアクティビティの分析およびレポート作成を目的に設計された堅実なビジネス・インテリジェンス・ソリューションとして利用できます。

WebSphere Commerce アクセラレーターからアクセスできるこの Commerce Analyzer レポートは、マーケティング・キャンペーンの比較成功率、および顧客の個人情報分類データを示します。これらのレポートは、最近のキャンペーンを評価して次回のキャンペーンを変更するのに使えるフィードバックを提供します。また、レポートが要求されたときのコンテキストに沿って示されます。たとえば、レポート・ボタンをクリックすると、定義済みのキャンペーンの一覧が示され、各キャンペーンに関連したレポートを一覧で見ることができます。使用可能なコンテキストには、以下のものがあります。

- store
-  アカウントおよび契約
- キャンペーン
- キャンペーン・イニシアチブ
- e-マーケティング・スポット

WebSphere Commerce Analyzer は定期的を実動データベースからデータを自動的に抽出します。その後ここではログと大量のデータベース・レコードを処理して、顧客の通信量とサイトの使用量に基づいたレポートをコンパイルします。データ抽出スケジュールは、すべて構成可能です。通常スケジュールは、実行時ごとに抽出されるデータ量を最小化するため、1 日単位でデータ抽出処理を実行するようになっています。一般に WebSphere Commerce Analyzer は、実動マシンでのパフォーマンスへの影響を減らすために、リモート専用マシンにあります。

WebSphere Commerce Analyzer に関して詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer User's Guide* を参照してください。

## WebSphere Commerce Analyzer レポートの使用可能化

WebSphere Commerce Analyzer レポートを使用可能にするには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce Analyzer をインストールして構成する。詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide* を参照してください。
2. 構成マネージャーを立ち上げる。
3. ユーザーのマシン名をもつノードを拡張表示し、「インスタンス」を拡張表示して、変更したいインスタンスを選択する。
4. **Commerce アクセラレーター**・リストを選択する。
5. チェック・ボックスを選択して、WebSphere Commerce Analyzer がインストールされたことを指示する。
6. 「レポートの文書ルート」へのパスを入力するか、デフォルトを受け入れる。デフォルトでは、このパスは以下のとおりです。

▶ WIN

drive:¥WebSphere¥CommerceServer¥instances¥instance\_name¥report\_document\_root

▶ AIX

/usr/WebSphere/CommerceServer/instances/instance\_name/report\_document\_root

▶ SOLARIS

▶ LINUX

/opt/WebSphere/CommerceServer/instances/instance\_name/report\_document\_root

▶ 400

/QIBM/UserData/WebCommerce/instances/instance\_name/report\_document\_root

7. 「コンポーネント」ノードを拡張表示する。
8. UserTrafficEventListener および CampaignRecommendationListener コンポーネントを使用可能にする。
9. WebSphere Commerce サーバーを停止して、開始する。

## WebSphere Commerce Analyzer レポートの表示

WebSphere Commerce Analyzer レポートを表示するには、以下のようにします。

**注:** レポートを表示する前に、ビジネス・インテリジェンス・コンポーネントを使用可能にし、データベースをすくなくとも 1 度処理しておく必要があります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「ストア」・メニューから、「ビジネス・インテリジェンス・レポート」をクリックする。
3. 使用可能な WebSphere Commerce Analyzer レポートのリストが表示されます。
4. 表示したいレポートを選択する。

オプションで、アカウント・リスト、契約リスト、e-マーケティング・スポット・リスト、キャンペーン・リスト、またはキャンペーン・イニシアチブ・リストから、「レポート」ボタンをクリックすることもできます。この方法を用いる場合は、現行テキストに適合するレポートだけが表示されます。

**注:** WebSphere Commerce Analyzer レポートが利用可能となるのは、WebSphere Commerce Analyzer をインストールし構成した後です。詳しくは、以下の文書を参照してください。

- *WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide*
- *WebSphere Commerce インストール・ガイド*

---

## 顧客プロフィール

顧客プロフィールは、登録情報、個人情報、住所情報、顧客の文化的バックグラウンド、購入履歴、および、顧客の動的グループまたはアカウントを定義するその他の各種属性を統合します。顧客プロフィールは広告、販売促進、お勧め商品提示商法、および割引のターゲットとして機能します。よって、キャンペーンを作成する前に、顧客プロフィールを作成する必要があります。

プロフィールは、動的なものと考えられます。それは、顧客がいずれかのプロフィールに属する根拠となる個人データや購入履歴は、変動する可能性があるか

らです。たとえば、顧客の登録状況に基づいて、プロフィールを作成するとします。登録してはじめて正当な顧客とみなすプロフィールを作成すると、未登録の顧客は除外されることとなります。除外された顧客でもその後で登録すれば、そのターゲット・プロフィールのメンバーとなり、プロフィールが削除されない限りずっとメンバーのままとなります。

顧客プロフィールはまた、静的基準もサポートします。特定の顧客またはアカウントを明示的に組み込んだり除外したりすることができます。その指定は、定義済みのすべての動的基準をオーバーライドします。このようにすれば、たとえば、本来なら適格でなかったはずの顧客をプロフィールに組み込んだり、本来なら適格であったはずのアカウントを除外したりすることができます。

顧客プロフィールを作成および編集するには、WebSphere Commerce アクセラレーターの「顧客プロフィール」ノートブックを使用します。

## e-マーケティング・スポット

e-マーケティング・スポットは、個人向けに設定した販売促進コンテンツを表示するスペースをストア・ページ上に確保します。e-マーケティング・スポットはページ作成中に使用され、顧客側に表示される動的コンテンツ用のスペースを用意します。顧客がページを要求すると、ページ上にある e-マーケティング・スポットがルール・サーバーと通信して、そのスポットに関連するルール・ベース・コードを処理します。各 e-マーケティング・スポットには、関連する 1 つまたは複数のキャンペーン・イニシアチブがあります。e-マーケティング・スポットは、JSP 技術と連携して使用される特別な data bean によってサポートされますが、それによって WebSphere Commerce のルール処理システムを使った Web ページ・コンテンツを生成します。

e-マーケティング・スポットは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「e-マーケティング・スポット」ウィザードを使用して作成されます。e-マーケティング・スポットの配置および作成については、コンテンツに対して責任を負うマーチャント、JavaServer Page の作成に責任を負うページ・デザイナー、およびそのスポットに表示されるグラフィックスやテキストの作成にあたるメディア・デザイナーが、互いに協力して決定する必要があります。これにより、スポットが十分なスペースと美観のとれたサイト設計を備えて実装されます。e-マーケティング・スポットには HomePageAd または CheckoutPageRecommendation のように、場所を組み込んだ解釈可能な名前を付けることをお勧めします。これにより、表示される場所や記載されている内容について混乱することが少なくなります。また、必要であれば、同じページに表示される 2 つの e-マーケティング・スポットを区別するために、名前に番号を付けることができます。e-マーケティング・スポット名は、有効な Java ID でなければなりません。

ページ・デザイナーは、必要なページおよび指定された場所に、該当する e-マーケティング・スポットを提供する責任を負います。e-マーケティング・スポットを定義するには、WebSphere Commerce の汎用 bean である EMarketingSpot bean を使います。この bean の名前プロパティは、必要な e-マーケティング・スポットごとに指定する必要があります。これにより、各 e-マーケティング・スポットが固有になります。この bean は Commerce Studio にあります。

## 広告コピー

広告コピーは、キャンペーン用に作成されたすべてのサポート・マテリアルを指します。通常、そのようなマテリアルは、内容に応じてライター・チームまたはグラフィック・アーティストによって作成されます。その場合、商品の写真や広告で使用されるグラフィック、または商品を宣伝する販売促進テキストなどの表示コンテンツを広告コピーに組み込む必要があります。

どの広告掲示でも、広告コピーをサイトで使用する前に WebSphere Commerce データベース内で定義する必要があります。そのため、キャンペーンの前に要件を確定するためにマーケティング部門と制作部門とが連絡を取り合う必要があります。広告コピーの定義が完了したら、キャンペーンの作成時に参照することができ、必要に応じて表示できます。

広告コピーおよびその他のキャンペーン資産は、WebSphere Commerce アクセラレーターを使って作成します。

## 顧客プロフィール要約の表示

顧客プロフィールの要約を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**顧客プロフィール**をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
3. 表示したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。  
「要約」をクリックする。「顧客プロフィールの要約」ページが表示され、選択された顧客プロフィールに関する情報が示されます。
  - 顧客プロフィール情報を変更したい場合は、「**変更**」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がります。
  - 顧客プロフィールを削除したい場合は、「**削除**」をクリックする。プロフィールが削除され、「顧客プロフィール」ページに戻ります。
  - このプロフィールを複製して新規プロフィールを作成したい場合は、「**複製**」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がり、現在のプロフィールの全データが表示されます。
4. 変更しない場合は、確認し終わったら、「**OK**」をクリックし直前のページに戻る。

## 新規顧客プロフィールの作成

新規の顧客プロフィールを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「**顧客プロフィール**」をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
3. 「**新規**」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが表示されます。



4. 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを完了し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. **OK** をクリックして、プロファイルを保管しノートブックをクローズする。顧客プロファイルは、「顧客プロファイル」ページに表示されます。

## 顧客プロファイルの変更

顧客プロファイルを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**顧客プロファイル**をクリックする。「顧客プロファイル」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロファイルが示されます。
3. 変更したい顧客プロファイルの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「**変更**」をクリックする。「顧客プロファイル」ノートブックが立ち上がり、立ち上がります。
4. 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを更新し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 「**OK**」 をクリックして、更新したプロファイルを保管しノートブックをクローズする。

## 顧客プロファイルの複製

既存のプロファイルを複製することにより新規のプロファイルを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**顧客プロファイル**をクリックする。「顧客プロファイル」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロファイルが示されます。
3. 複製したい顧客プロファイルの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「**複製**」をクリックする。これによって、「顧客プロファイル」ノートブックが立ち上がり、コピー元のプロファイルの全データが表示されます。
4. 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを更新し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 「**OK**」 をクリックして、更新したプロファイルを保管しノートブックをクローズする。プロンプトが表示され、このプロファイルに対して新規の名前を指定するように指示されます。

## 顧客プロファイルの削除

顧客プロファイルを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. 自分のストアを選択する。
3. 「マーケティング」メニューから、「顧客プロフィール」をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
4. 削除したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
5. 「削除」をクリックする。これで、このページに、顧客プロフィール・リストが更新されて表示されます。

注: 現在アクティブ・キャンペーン・イニシアチブと関連付けられている顧客プロフィールを削除することはできません。

---

## キャンペーン

キャンペーンは、販売促進活動を編成するための機能を提供します。通常、キャンペーンは販売促進管理者か、取引管理マネージャーのいずれかによって作成されます。これらのキャンペーンは、多くの場合ある一連の目的に関連付けられます。たとえば「入学進学」キャンペーンには、このキャンペーン中に子供服の売れ行きを上げるなどの目的があります。

WebSphere Commerce では、条件を定義するキャンペーン・イニシアチブをキャンペーン内でいくつでも設けることができます。定義済み条件が true と評価されると、キャンペーン・イニシアチブは顧客を対象としたコンテンツを生成します。するとそのキャンペーンは、そのイニシアチブを編成する上位のマーケティング・エレメントとなります。

キャンペーンは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「キャンペーン」ウィザードを使用して作成されます。

### 新規キャンペーンの作成

新規のキャンペーンを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 販売促進メニューから、キャンペーンをクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されません。
3. 「新規」をクリックする。「新規キャンペーン」ウィザードが立ち上がり、キャンペーンを定義できるようになります。
4. 作成したいキャンペーンに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。「次へ」ボタンを使用して、ウィザードのページを移動する。「前へ」ボタンを使用すれば、前のページに戻ることができます。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 「終了」をクリックして、キャンペーンを保管する。キャンペーンは、「キャンペーン」リストに表示されます。このキャンペーンは、先にイニシアチブを作成しなければ使用することはできません。

### キャンペーンの変更

キャンペーンを変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. **販売促進**メニューから、**キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されます。
3. 変更したいキャンペーンの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **変更**をクリックする。選択したキャンペーンを含む「キャンペーン」ノートブックが表示されます。
5. 変更したキャンペーンに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを更新する。ノートブックの左側にあるナビゲーション・パネルを使用して、ページの間で移動します。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
6. **OK** をクリックして、変更したキャンペーンを保管する。

## キャンペーンの削除

キャンペーンを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. **販売促進**メニューから、**キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されます。
3. 除去したいキャンペーンの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **削除**をクリックする。キャンペーンが「キャンペーン・リスト」から削除されません。

---

## キャンペーン・イニシアチブ

キャンペーン・イニシアチブは、ターゲットとなる販売促進内容を生成するための機能を提供します。通常、キャンペーン・イニシアチブは販売促進管理者か、取引管理マネージャーのいずれかによって作成されます。イニシアチブの集まりを収めたキャンペーンに関連付けられます。この関係の例として、事務用品店が「入学進学」のキャンペーンを行う場合、イニシアチブは、下位のアクション (ペンの割引に関する広告をしたり、職業が学生と登録されリストされている顧客に対して、レポート用紙を勧めたりするなど) に対する責任を担うものになります。

キャンペーン・イニシアチブは、3 種類の動的コンテンツを表示できます。1 つ目のコンテンツ・タイプは、お勧め商品提示商法イニシアチブで、2 つ目は協調フィルタリングをベースにした拡販活動、3 つ目は広告掲示です。お勧め商品提示商法のコンテンツは、ルール・ベースの商品提示を念頭に設計されます。この場合、ある顧客のプロファイルやその他の顧客の行動を基に特定の顧客がターゲットとなります。この種のコンテンツを表示するイニシアチブは、クロスセルおよびアップセルを誘引するのに使うためのものです。これに対して、協調フィルタリング・ベースの拡販活動は、同じく商品の拡販を図るためのものですが、別の拡販アルゴリズムを使用します。つまり、事前定義ルールではなく顧客の全体的な行動に基づいて対象アイテムを選定します。最後に、広告掲示は、お勧め商品提示商法と同じ基準で特定の顧客をターゲットとした広告コンテンツを提示するよう設計されます。た

だしこれは、オンライン・ストアの活動に対する顧客認知の向上、特別なオファーの強調、およびブランドに対する認知の強化を図るための広告です。

サイト上のどのページにもイニシアチブを組み入れることができます。 サイトが設計されると、e-MarketingSpots と呼ばれる特別なプレースホルダーがサイト上に置かれます。 これらのプレースホルダーは、顧客に表示される際に、特定のターゲット・コンテンツに置き換えられます。 ターゲット位置は、スケジューリング・イニシアチブによって割り当てられ、任意の場所に e-マーケティング・スポットを表示します。

キャンペーン・イニシアチブには、いつ誰にこのキャンペーン・イニシアチブを表示するかを決定する条件があります。 そのような条件は、イニシアチブの作成時に定義されますが、イニシアチブの存続中に変更すれば表示の有無および表示コンテンツを調整することができます。

キャンペーン・イニシアチブは、その使用に関する統計情報を生成します。 これらの統計情報は、マーチャント、マーケティング管理者、および取引管理マネージャーが WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して表示できます。 統計情報は、イニシアチブが実施されている各 e-Marketing スポットごとに、イニシアチブの閲覧率を表示します。 これらの統計情報は、イニシアチブの有効性についてのフィードバック、およびイニシアチブを表示するさまざまな場所での比較成功率を提供します。

キャンペーン・イニシアチブは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードを使用して作成されます。

## キャンペーン・イニシアチブの表示

キャンペーンのイニシアチブを表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。 ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ・リスト」が表示され、ストアに定義されたイニシアチブがすべて示されます。

## キャンペーンの新規イニシアチブの作成

既存のキャンペーンに対して新規イニシアチブを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。 ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**キャンペーン・イニシアチブ**をクリックする。 選択したキャンペーンのイニシアチブを含む「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示されます。
3. **新規**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードが表示されず。
4. 作成したいキャンペーン・イニシアチブに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了します。 各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。

5. 終了をクリックして、新規キャンペーン・イニシアチブを保管する。イニシアチブは、「キャンペーン・イニシアチブ」リストに表示されます。

## キャンペーン・イニシアチブの変更

キャンペーン・イニシアチブを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」をクリックする。選択したキャンペーンのイニシアチブを含む「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示されます。
3. 変更したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. 「変更」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」ノートブックが表示され、選択されたキャンペーン・イニシアチブの情報が示されます。
5. 更新したキャンペーン・イニシアチブに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。ノートブックの左側にあるナビゲーション・パネルを使用して、ページの間で移動します。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
6. 「OK」 をクリックして、変更したキャンペーン・イニシアチブを保管する。

## キャンペーン・イニシアチブの統計の表示

キャンペーン・イニシアチブの統計を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**キャンペーン・イニシアチブ**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示され、選択されたキャンペーンのイニシアチブが示されます。
3. 統計を表示したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **統計**をクリックする。統計カウンターの表示ソースが実動サーバーとして定義されていて、WebSphere Commerce アクセラレーターが開発またはステージング・サーバー上にある場合には、統計を表示するために実動サーバーにログオンする必要があります。「キャンペーン・イニシアチブ統計」ウィンドウが表示されます。
5. ページ・ヒストリーを使用して、所要の位置へ戻る。

## キャンペーン・イニシアチブの削除

キャンペーン・イニシアチブを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示され、選択されたキャンペーンのイニシアチブが示されます。

3. 削除したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択して、「削除」をクリックする。

---

## LikeMinds 5.2 により駆動される WebSphere Commerce Recommendation Engine

WebSphere Commerce Recommendation Engine は、 WebSphere Commerce に組み込まれているオプションのアプリケーションです。 WebSphere Commerce Recommendation Engine は LikeMinds、すなわち顧客の行動パターンに基づいて商品を拡販するための強力な協調フィルタリング・エンジンにより駆動されます。

WebSphere Commerce Recommendation Engine は、多くのアルゴリズムに基づいてプロフィール情報を収集し、メンター・グループを開発します。これらのグループは、以降の拡販活動の基礎となります。 特定のコミュニティーのプロフィールに当てはまる顧客に対しては、そのコミュニティーの他の顧客の好みに基づいた拡販活動が提供されます。 この個人情報設定モデルの場合、顧客の現在の購買傾向に基づいて拡販活動が行われますが、それは時間の経過と共に変動しやすいため、他のモデルと比較して臨機応変であるといわれます。

WebSphere Commerce Recommendation Engine クライアントは、 WebSphere Commerce の製品のインストール時にインストールされます。このクライアントは JAR ファイルとして、LMRecommender.jar という名前でインストールされます。

WebSphere Commerce Recommendation Engine について詳しくは、 WebSphere Commerce Recommendation Engine CD で使用可能な以下の資料を参照してください。

- *LikeMinds Personalization Server Installation Guide for Windows NT*
- *LikeMinds Personalization Server Installation Guide for UNIX Systems*
- *LikeMinds Personalization Server Customization Guide*
- *LikeMinds Personalization Server API Guide*

---

## 付録. Learning Guides

---

### バイヤー (販売サイド) の学習ガイド

販売組織のバイヤーは、取引先との主な接点です。バイヤーはベンダーからのネゴシエーションとオーダーを処理し、在庫の追跡記録をとります。また、バイヤーは購入オーダーの決定を下したり、予定在庫レコードを追跡記録したりします。領収書には、返品理由が記録されます。

#### 学習目標:

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して以下のタスクを実行する方法を学習します。

- 商品および関連 SKU の作成
- 商品情報の表示、分類、変更、または削除
- 各商品の操作情報の作成
- 予定在庫レコードの領収書の作成、表示、変更、および削除
- ベンダー情報の作成、表示、変更、および削除

#### スキルの前提条件:

ストアの作業手順と Web ブラウザーの使用方法について理解していること。

#### 始めに:

ナビゲーション・フレームで「役割」->「Product management (商品管理)」->「バイヤー」をクリックする。

適用できるオンライン・ヘルプ・トピックのリストが表示されます。

---

### カテゴリー・マネージャーの学習ガイド

カテゴリー・マネージャーは、カテゴリーを作成、変更、および削除することによって、カテゴリー階層を管理します。カテゴリー階層は、ストアが提供する商品やサービスを編成したものです。カテゴリー・マネージャーは、商品、予定在庫レコード、取引先情報、在庫、および返品理由も管理します。

#### 学習目標:

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して以下のタスクを実行する方法を学習します。

- カテゴリーの作成、変更、および削除
- カテゴリーの検索
- 別のカテゴリーへの商品の割り当て

#### スキルの前提条件:

ストアの作業手順と Web ブラウザーの使用方法について理解していること。

#### 始めに:

ナビゲーション・フレームで「役割」->「Product management (商品管理)」->

「**カテゴリ・マネージャー**」をクリックする。  
適用できるオンライン・ヘルプ・トピックのリストが表示されます。

---

## 商品マネージャーの学習ガイド

### 学習目標:

商品マネージャーは、オンライン・ストアの商品を表示、価格設定、および販売するための最善の方法を決める責任があります。商品マネージャーは、顧客の購入を追跡調査して、割引を提示します。また、商品マネージャーは、お勧め商品提示商法の手法の決定と、オークションおよび入札制御の作成と管理も行います。

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して以下のタスクを実行する方法を学習します。

- 商品の作成と変更
- 割引の作成と商品への割引の割り当て
- 商品アドバイザーの処理

### スキルの前提条件:

ストアの作業手順と Web ブラウザーの使用方法について理解していること。

### 始めに:

ナビゲーション・フレームで「**役割**」->「**Product management (商品管理)**」->「**商品マネージャー**」をクリックする。  
適用できるオンライン・ヘルプ・トピックのリストが表示されます。



---

## 特記事項

本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の動作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む。）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Lab Director  
IBM Canada Ltd. Laboratory  
8200 Warden Avenue  
Markham, Ontario  
L6G 1C7  
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この文書には、他社のインターネット・サイトへの参照を含む、他社製品の情報が含まれている場合があります。IBM は、そのような情報の正確性、完全性、または使用については何ら責任を負いません。

この製品は、SET プロトコルに基づいています。

米国政府機関ユーザーの権利の制限 - IBM Corporation との間の GSA ADP Schedule Contract により、使用、複製、および開示が制限されます。

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

|               |           |           |
|---------------|-----------|-----------|
| AIX           | CICS      | DB2       |
| DB2 Extenders | Encina    | HotMedia  |
| IBM           | iSeries   | MQSeries  |
| SecureWay     | VisualAge | WebSphere |
| 400           |           |           |

Blaze Advisor は HNC Software, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Lotus および Domino は、Lotus Development Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Oracle は Oracle Corporation の登録商標です。

SET および SET ロゴは、SET Secure Electronic Transaction LLC の商標です。詳しくは、<http://www.setco.org/aboutmark.html> を参照してください。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



